科目名	馬学Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	長嶺幸介
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）						

教員の略歴	競走馬生産・イヤリング牧場、乗馬クラブインストラクター、移動動物園、NPO法人生態科学研究機構副理事長
授業の学習内容	馬は、大型動物の管理の基礎をしっかり学ぶために欠かせない動物であり、本専攻で学ぶ学生がこの先就職する業界の殆どの職種で扱うことが多い動物でもある。産業動物として、また、伴侶動物として、飼育管理、トレーニング、動物福祉、アニマルセラピー、と様々に関連付けて学ぶ必要がある。馬は、感情の豊かな動物であり、繊細で、非常に魅力がいっぱいの動物である。大きな動物である馬が人と信頼関係を結び、様々な要求に答えてくれる。そのためにはまず馬のことを知り、理解しようと努力し、誠実に向き合うことが重要である。 馬の歴史、品種、生理、生態、行動、等の基礎を学び、基本的な取り扱いや飼養管理ができるように講義を行う。保定や仕事に必要な知識技術を身につける。馬具の種類や扱い方を知る。馬が関わる仕事や資格などについて説明する。
到達目標	①馬という動物について基本的な知識を身に着け、理解をできるように努め、興味を持って考えられる ②馬に関わる仕事や、馬具について理解できる ③動物たちを知り、相手の立場に立って、彼らが何を思っているか、何を考えているか、理解するための観察の重要性を理解できる
評価方法と基準	定期試験において、60点以上で合格とする。

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義	馬の進化と家畜化の歴史と馬具について理解できる	馬の体と指の変化を覚える
2	4月22日	講義	馬の品種の分類を理解し、主な品種を分けることができる	日本の在来馬の、どの品種がどこの地域の馬なのか覚える
3	5月13日	講義	DVD「馬」を見て、前回までの復習と、今後の基本的な内容の理解ができる	馬の歩様と歩法を覚える
4	5月20日	講義	馬の食性について理解できる	馬体名称のプリント（配布）の馬体名称を覚える
5	5月27日	講義	馬の習性について理解できる	馬体名称のプリント（配布）の馬体名称を覚える
6	6月3日	講義	馬の頭部の特徴について理解できる	馬体名称のプリント（配布）の馬体名称を覚える
7	6月10日	講義	馬の体の特徴について理解できる	馬体名称のプリント（配布）の馬体名称を覚える
8	6月17日	講義	馬の蹄・削蹄・装蹄について理解し説明できる	蹄の部位の名称を覚える
9	6月24日	講義	馬の登録と個体識別法（先天的特徴）について理解し、説明できる	馬の毛色を漢字でかけるようにする
10	7月1日	講義	個体識別法（後天的特徴）について理解し説明できる	先天的特徴と後天的特徴を分けられるようにする
11	7月8日	講義	馬の悪癖について理解し、説明できる	悪癖を漢字でかけるようにする
12	7月22日	講義・実技	保定法と使用する道具を理解できる。仕事で使うロープワーク（もやい結び）ができるようになる	ロープワーク復習。　前期授業のノート整理
13	8月26日	講義・実技	ロープワーク（巻き結び、馬結び、簡易頭絡、南京結び）ができるようになる	ロープワーク復習。　前期授業のノートの試験範囲見直し
14	9月2日	試験	筆記試験	試験内容復習
15	9月9日	講義・実技	試験解説とまとめ。乗馬と資格について理解する	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

教科書は無し。必要に応じて随時書籍等を使用。

科目名	動物の体のしくみⅠ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	長嶺幸介
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	競走馬生産・イヤリング牧場、乗馬クラブ、総合ペットショップ、移動動物園、NPO法人生態科学研究機構副理事長						
授業の学習内容	動物たちは種ごと、個体ごとに体のしくみや特徴が異なる。教科書では犬が中心の解剖学のものであるが、他の動物も比較し、織り交ぜながら、動物たちの基本的な体の仕組みを理解し、適切な取り扱いや管理ができるようにする。						
到達目標	基本的な動物の体のしくみを理解する。部位や構造などの専門用語を読み書きできる。これらを踏まえて、構造や働き、仕組みなどをしっかりと理解し記憶し、動物たちに接する際、自らが正しい扱いができ、正常な状態を知り、早期に異常に気づき、間違った扱いを正すこともできる。						
評価方法と基準	定期試験において、60点以上で合格とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	4月19日	講義	皮膚や皮膚線の構造や働きを理解できる	
2	4月26日	講義	角質器の構造や違いを理解できる	前回の授業の復習
3	5月10日	講義	口腔内や歯の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
4	5月17日	講義	口蓋と舌の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
5	5月24日	講義	咽頭と食道の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
6	5月31日	講義	胃の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
7	6月14日	講義	小腸の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
8	6月21日	講義	大腸の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
9	6月28日	講義	肝臓と胆嚢の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
10	7月5日	講義	膵臓の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
11	7月12日	講義	腎臓の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
12	7月19日	講義	尿管・尿道・膀胱の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
13	8月30日	講義	鼻腔や気管などの構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
14	9月6日	定期試験	筆記試験	前回までの授業の復習
15	9月13日	講義	試験解説と前期まとめ	前期の授業の総復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：滋慶「体のしくみ」　　参考書等：必要に応じて随時

科目名	動物の体のしくみⅠ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	江尻広美
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師　　複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	様々な動物種の体の仕組みや生態を知り、理解することで、正しい飼育方法や看護などのアドバイスを行う事が出来るようになります。 これらの知識を正しく理解し習得する事で、他者（飼い主様等）との情報共有やアドバイスが的確に行えるようになるため、コミュニケーション能力も習得出来る事が本授業の特徴です。						
到達目標	1）動物に対する観察技術を習得する事が出来る。 2）動物の健康管理が出来る。						
評価方法と基準	1）定期試験60％（14週目に筆記試験を実施） 2）小テスト30％（12週目に実施） 3）出席数・授業中の態度10％（授業内での質問に対し、積極的に発言が出来る等）						

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義	骨格系（様々な動物の骨格の違いを習得する事が出来る）	動物看護の教材等を熟読し、予習・復習を行う事で知識を習得する事が出来る
2	4月22日	講義	骨格系（様々な動物の骨格の違いを習得する事が出来る）	動物看護の教材等を熟読し、予習・復習を行う事で知識を習得する事が出来る
3	5月13日	講義	消化器系（様々な動物の消化器系の違いを習得する事が出来る）	動物看護の教材等を熟読し、予習・復習を行う事で知識を習得する事が出来る
4	5月20日	講義	消化器系（様々な動物の消化器系の違いを習得する事が出来る）	動物看護の教材等を熟読し、予習・復習を行う事で知識を習得する事が出来る
5	5月27日	講義	消化器系（様々な動物の消化器系の違いを習得する事が出来る）	動物看護の教材等を熟読し、予習・復習を行う事で　知識を習得する事が出来る
6	6月3日	講義	消化器系（様々な動物の消化器系の違いを習得する事が出来る）	動物看護の教材等を熟読し、予習・復習を行う事で　知識を習得する事が出来る
7	6月10日	講義	消化器系（様々な動物の消化器系の違いを習得する事が出来る）	動物看護の教材等を熟読し、予習・復習を行う事で　知識を習得する事が出来る
8	6月17日	講義	循環器系（様々な動物の循環器系の違いを習得する事が出来る）	動物看護の教材等を熟読し、予習・復習を行う事で　知識を習得する事が出来る
9	6月24日	講義	循環器系（様々な動物の循環器系の違いを習得する事が出来る）	動物看護の教材等を熟読し、予習・復習を行う事で　　知識を習得する事が出来る
10	7月1日	講義	循環器系（様々な動物の循環器系の違いを習得する事が出来る）	動物看護の教材等を熟読し、予習・復習を行う事で　　知識を習得する事が出来る
11	7月8日	講義	循環器系（血液の機能について習得する事が出来る））	動物看護の教材等を熟読し、予習・復習を行う事で　　知識を習得する事が出来る
12	7月22日	講義	循環器系（血液について習得する事が出来る）小テスト（各単元の理解度を筆記試験にて行う。）	動物看護の教材等を熟読し、予習・復習を行う事で　　知識を習得する事が出来る
13	8月26日	講義	小テスト解答・解説（自己の理解度を確認し、復習する事で知識を習得する事が出来る）	動物看護の教材等を熟読し、予習・復習を行う事で　　知識を習得する事が出来る
14	9月2日	試験	前期期末試験（筆記試験）	動物看護の教材等を熟読し、予習・復習を行う事で　　知識を習得する事が出来る
15	9月9日	講義	振り返り（答案用紙の返却・解答をして、出来なかったところを正しく習得する事が出来る。	動物看護の教材等を熟読し、予習・復習を行う事で　　知識を習得する事が出来る
準備学習　時間外学習			自主学習で充当	

【使用教科書・教材・参考書】

動物看護の教科書（緑書房）等・・配布プリント等

科目名	動物の体のしくみⅠ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	藤田智子
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼ー）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	農獣医学部卒業後、千葉県鴨川シーワールド入社。海獣飼育員として勤務。						
授業の学習内容	基本的な動物の体の構造や骨格、生理的な知識を学ぶ。						
到達目標	飼育環境の改善、体調不良の原因を考えられるようになれば良い						
評価方法と基準	定期試験　80%　　授業態度　20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義	ガイダンス	テキスト・ノート確認
2	4月26日	講義	表皮・真皮を説明できる。	テキスト・ノート確認
3	5月10日	講義	末端血流について説明できる。	テキスト・ノート確認
4	5月17日	講義	乳腺について説明できる。	テキスト・ノート確認
5	5月31日	講義	動物の表皮について説明できる。	テキスト・ノート確認
6	6月7日	講義	汗、体温調節について説明できる。	テキスト・ノート確認
7	6月14日	講義	体毛について説明できる。	テキスト・ノート確認
8	6月21日	講義	食事、栄養について説明できる。	テキスト・ノート確認
9	6月28日	講義	栄養成分について説明できる。	テキスト・ノート確認
10	7月5日	講義	海獣の食事について説明できる。	テキスト・ノート確認
11	7月12日	講義	咽頭と喉頭の違いについて説明できる。	テキスト・ノート確認
12	7月19日	講義	鯨類の咽頭・喉頭・食道について説明できる。	テキスト・ノート確認
13	8月30日	講義	前期の授業内容をまとめ、説明できる。	
14	9月6日	試験	筆記試験	
15	9月13日	講義	振り返り	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】
JESC動物の体のしくみ

科目名	動物の体のしくみⅡ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	藤田智子
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼ー）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	農獣医学部卒業後、千葉県鴨川シーワールド入社。海獣飼育員として勤務。						
授業の学習内容	基本的な動物の体の構造や骨格、生理的な知識を学ぶ。						
到達目標	飼育環境の改善、体調不良の原因を考えられるようになれば良い						
評価方法と基準	定期試験　80%　　授業態度　20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義	胃のはたらきについて説明できる	テキスト・ノート確認
2	10月11日	講義	肝臓、胆のう、すい臓の分泌物について説明できる。	テキスト・ノート確認
3	10月18日	講義	腎臓のはたらきを説明できる。	テキスト・ノート確認
4	10月25日	講義	腎臓のはたらきを説明できる。	テキスト・ノート確認
5	11月1日	講義	気管・気管支・肺のはたらきを説明できる。	テキスト・ノート確認
6	11月8日	講義	生殖器のつくりを説明できる。	テキスト・ノート確認
7	11月15日	講義	生殖器のつくりを説明できる。	テキスト・ノート確認
8	11月22日	講義	生殖器のつくりを説明できる。	テキスト・ノート確認
9	11月29日	講義	骨格のつくりを説明できる。	テキスト・ノート確認
10	12月6日	講義	骨格のつくりを説明できる。	テキスト・ノート確認
11	12月13日	講義	頭蓋骨と耳骨を説明できる。	テキスト・ノート確認
12	1月10日	講義	眼球を説明できる。	テキスト・ノート確認
13	1月17日	試験	まとめ	
14	1月24日	講義	筆記試験	
15	1月31日	講義	振り返り	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】
JESC動物の体のしくみ

科目名	トリミング理論Ⅲ	必修選択	選択	年次	2・3	担当教員	水島綾子
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼ー）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	Dog Salon Mint 代表、講師歴20年以上						
授業の学習内容	各犬種のスタンダードやカット等を学ぶ事ができ又、プロとして活躍していく上で必要な知識を得る事が出来る授業となります。理論で得た知識を実習でも生かして下さい。						
到達目標	・各犬種別のトリミングが理解出来るようになる ・プロとしての知識を習得し、接客が出来るようになる ・ペットビジネスの基礎知識を習得出来る						
評価方法と基準	筆記試験100％						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	プードル（スタンダードを理解し、クリッパーラインと注意点を学習する）	各ペットクリップを調べる
2		講義実習	犬種別頭部の仕上げ（モデル犬を使い、カット方法と注意点を学習する）	講義実習を見て気付いた事をまとめる
3		講義	犬種別の仕上げ方法(各犬種別のスタンダードの仕上げ方法を学習する）	各犬種ごとの仕上げを学習する
4		講義	ライフビジョン（将来の目標確認をし就職進路について学習する）	逆算シートを作製してみる
5		講義	ケアトリミング（ファーストトリミング、シニアトリミング等ケアトリミングについて学習する）	トリミングの目的や必要性を考えてみる
6		講義	ビジネス①（開業、経営の基礎知識を学習する）	ビジネスシミュレーションを立ててみる
7		講義	ミニチュア・シュナウザー（スタンダードを理解し、クリッパーラインと注意点を学習する）	クリッパーラインを復習し覚える
8		講義	接客応対①（実践で役立てるように接客のポイントを学習する）	ビジネスマナーを学習する
9		講義	接客応対②（模擬応対を通して問題点を確認し、対応を学習する）	ビジネスマナーを学習する
10		講義実習	ビション・フリーゼ（モデル犬を使い、オールシザーでのペットクリップを学習する）	講義実習を見て気付いた事をまとめる
11		講義	フード（フードのタイプ別の特徴と保存方法を学習する）	いろいろフードを調べてみる
12		講義	ビジネス②（開業、経営の基礎知識を学習する）	ビジネスシミュレーションを立ててみる
13		講義	小テスト（本試験に向けて学習する）	前期理論の復習をする
14		試験	テスト（筆記試験）	前期理論の復習をする
15		振り返り	振り返り（答案用紙返却と答え合わせをして前期の復習をする）	前期理論の復習をする
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	トリミング理論Ⅳ	必修選択	選択	年次	2・3	担当教員	水島綾子
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	Dog Salon Mint 代表、講師歴20年以上						
授業の学習内容	各犬種のスタンダードやカット等を学ぶ事ができ又、プロとして活躍していく上で必要な知識を得る事が出来る授業となります。理論で得た知識を実習でも生かして下さい。						
到達目標	・各犬種別のトリミングが理解出来るようになる ・プロとしての知識を習得し、接客が出来るようになる ・ペットビジネスの基礎知識を習得出来る						
評価方法と基準	筆記試験100％						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	検定筆記試験対策	テキスト等で確認をする
2		講義	検定筆記試験模擬テスト	模擬テストでの再確認
3		講義	A.コッカー・スパニエル①（スタンダードを理解する）	習った事を復習する
4		講義実習	A.コッカー・スパニエル②（クリッパーラインを理解し、ペットクリップを学ぶ）	講義実習を見て気付いた事をまとめる
5		講義	カラー効果（色の持つ、視覚効果について学習する）	看板、広告等カラー効果を調べてみる
6		講義	商品ディスプレイ①（効果的な商品陳列について学ぶ）	店舗でのディスプレイを調べてみる
7		講義	商品ディスプレイ②（効果的な商品陳列について学ぶ）	店舗でのディスプレイを調べてみる
8		講義	テリア(テリア種のトリミングを学ぶ）	特殊犬種のトリミングを調べてみる
9		講義	中毒について（物質や応急処置について学ぶ）	中毒を引き起こす物質を調べてみる
10		講義	カラーバラエティ①（各カラーやマーキングについて学ぶ）	習った事を復習する
11		講義	カラーバラエティ②（各カラーやマーキングについて学ぶ）	習った事を復習する
12		講義	カラーバラエティ③(各カラーやマーキングについて学ぶ）	習った事を復習する
13		講義	小テスト（本試験に向けて学ぶ）	理論の復習をする
14		講義	テスト（筆記試験）	理論の復習をする
15		講義	振り返り(答案用紙返却と答え合わせをして理論の復習をする）	理論の復習をする
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	トリミング演習ＡⅠ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	廣瀬玲真
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼ー）	授業形態	演習	総時間（単位）	90 3		
教員の略歴	TCAペットトリマー科卒、TCAトリマーアシスタント、ドッグサロンティアラ、goodyone、nunoclub勤務						
授業の学習内容	この授業では、プードルのベアカットをする上での基礎知識・カット技術を顔用ウィッグを使用して理解できるように講義と演習を行います。ブラシ・コーム・シザーの使い方も同時に学び、カットの基本と道具の使い方を学び習得します。						
到達目標	1)シザー・コームを正しく使うことができる2)ベアカットのスタイルを理解し、カットをすることができる						
評価方法と基準	1. 通常授業内評価（50%）・ウィッグの仕上がり（50%） 授業内でのツールの扱い方が正しくできているかと、ベアカットをウィッグに正しく表現できているかで評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義	グルーミングの流れについてを学び、スムーズに作業ができるようになる□	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
2	4月25日	講義・演習	犬体の組み立てを行い、ウィッグをとくことでブラシの使い方を学び正しく使えるようになる	その日に学んだことを復習し、練習する
3	5月9日	講義・演習	ベアカット種類の特徴を学び①、シザーの使い方も学び理解し、シザーをの基本がでできるようになる	その日に学んだことを復習し、練習する
4	5月16日	講義・演習	ベアカットの特徴をイラストで学び②、シザーで真っ直ぐカットすることができる	その日に学んだことを復習し、練習する
5	5月23日	講義・演習	ベアカットの特徴をイラストで学び③、シザーでカーブをカットすることができる	その日に学んだことを復習し、練習する
6	5月30日	講義・演習	ベアカットの特徴をイラストで学び④、シザーでベアカットを右半分カットすることができる	その日に学んだことを復習し、練習する
7	6月13日	講義・演習	ベアカットの特徴をイラストで学び⑤、シザーでベアカットを左半分カットすることができる	その日に学んだことを復習し、練習する
8	6月20日	講義・演習	ベアカットを4つの面のイラストで表現する方法を学び、シザーで一回り小さくベアカットを表現することができる	その日に学んだことを復習し、練習する
9	6月27日	講義・演習	他のベアカットの特徴を学びイラストで表現し、シザーで下半分をカットすることができる	その日に学んだことを復習し、練習する
10	7月4日	講義・演習	写真を観察しながらカットのイメージをしイラストで表現し、シザーで上半分をカットすることができる	その日に学んだことを復習し、練習する
11	7月11日	講義・演習	顔カットの注文の違いを学び理解し、自分のイメージで表現する	その日に学んだことを復習し、練習する
12	7月18日	講義・演習	前回、自分が作成したイラスト・ウィッグの考察し、改善する	その日に学んだことを復習し、練習する
13	8月29日	講義・演習	再度、自分のコーム・シザーの扱いを意識し、欠点を改善することができる	その日に学んだことを復習し、練習する
14	9月5日	講義・演習	丸み、面の歪みを意識し、より精度の高い表現をすることができる	その日に学んだことを復習し、練習する
15	9月12日	演習	今までに学んだ事をイラストとウィッグで表現することができる	その日に学んだことを復習し、練習する
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】　グルーミングツール・筆記用具

科目名	栄養学Ⅰ	必修選択	必須	年次	1	担当教員	小野みち代
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）						

教員の略歴	成蹊大学卒：金融系企業営業等、那須どうぶつ王国勤務、NSWAWL(AUS)動物ボランティア留学、自然療法家(P.G.Hom /Gemmotherapist)、Animal Nutrition
授業の学習内容	ペット（犬・猫）のヘルスケアで最も大切なことの一つは、彼らの身体を作り、栄養源となり、エネルギーを作りだす『食事』を理解することです。本栄養学の授業では、主に家庭で一緒に暮らす犬や猫の健康に役立つ『食』の知識を学びます。犬や猫が食べているものをきちんと知り、一つ一つの栄養素の働きを理解し、食事で犬猫の健康維持ができるようになるスペシャリストを目指してください。また、実習を通して健康に繋がる『食事（＝自然食）』を実際に経験し、将来、オーナー様やお客様に対して、日常における適切な食事の提案やアドバイスを行うことができるようになれるようしっかり学習してください。
到達目標	犬猫の適切な食事を自然科学ベースで理解できる犬猫の食事内容を、栄養素の視点から理解できる犬猫の消化器官の働きを理解できる 食事は生物の身体を作る重要な要素である同時に喜びや楽しみであることを理解できる 五大栄養素（タンパク質・脂質・炭水化物・ビタミン・ミネラル）を学び、働きや役割を理解できる
評価方法と基準	定期試験60% 出席日数、授業態度、実習への参加、取り組みの姿勢なども評価の対象とする40% 筆記試験＋出席日数＋取組姿勢を100点換算で評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0）再試験は公欠が認められた者のみ対応する 追試験1回（定期試験と同じ内容）をもってDの評価とする

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義＋実習	年間の授業内容を説明し、当科目の明確な学びの目的、目標、方法を理解することができる	自己紹介の準備をする（何を伝えるか） 使用教科書P.14～16(8行目まで)の熟読と理解
2	4月25日	講義＋実習	犬猫の食性について知る：食べる＝消化と吸収について体の仕組みと働きを理解する	実習のための食材を準備する 学校犬や自分の家の犬猫をよく観察し、性格や気持ち、考えていることを意識してみる 教科書P.16～18(囲み)、P.26～27の熟読と理解
3	5月9日	講義＋実習	犬猫の食性について知る：何をどれだけ食べるかを自然科学の視点から理解できる	
4	5月16日	講義＋実習	犬猫の食性について知る：適切な食事が大切な理由を知り、理解できる	
5	5月23日	講義＋実習	三大栄養素：タンパク質について学ぶ① タンパク質とはどのような栄養素か説明できる	実習のための食材を準備する 教科書P.33~37「動物性タンパク質」の熟読と理解
6	5月30日	講義＋実習	三大栄養素：タンパク質について学ぶ② タンパク質の質について理解し説明できる	実習のための食材を準備する 教科書P.106~110の熟読と理解
7	6月13日	講義＋実習	三大栄養素：脂質について学ぶ① 脂質とはどのような栄養素か説明できる	実習のための食材を準備する 教科書P.105の熟読と理解
8	6月20日	講義＋実習	三大栄養素：脂質について学ぶ② 脂肪酸の構造と特徴について学び、理解する	実習のための食材を準備する 教科書P.40「植物油・魚油」の熟読と理解
9	6月27日	講義＋実習	三大栄養素：炭水化物について学ぶ① 炭水化物とはどのような栄養素か説明できる	実習のための食材を準備する 教科書P.102~104の熟読と理解
10	7月4日	講義＋実習	三大栄養素：炭水化物について学ぶ② 糖質の構造と特徴について学び、理解する	実習のための食材を準備する 教科書P.20~21の熟読と理解
11	7月11日	講義＋実習	五大栄養素：ビタミンについて学ぶ① 水溶ビタミンについて学び、理解する	実習のための食材を準備する 教科書P.40~41、P.112~115の熟読と理解
12	7月18日	講義＋実習	五大栄養素：ビタミンについて学ぶ② 脂溶性ビタミンについて学び、理解する	実習のための食材を準備する 教科書P.116~119の熟読と理解
13	8月29日	講義＋実習	試験対策：小テスト	前期で学んだことの復習と再理解に努める 配布された資料をファイリングする
14	9月5日	試験	前期試験：60分	試験範囲からの予習と対策
15	9月12日	講義＋実習	試験の内容を振り返り知識の理解を深める	試験範囲の復習 できなかったところをチェックして覚える
準備学習　時間外学習			実習のための食材を準備し、授業でその栄養素について学ぶことで犬猫の食事対して興味を促す	

【使用教科書・教材・参考書】

「もう迷わない！ペットの健康ごはん」本村伸子著（コロ出版）、講師が準備する資料

科目名	栄養学Ⅱ	必修選択	必須	年次	1	担当教員	小野みち代
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	成蹊大学卒：金融系企業営業等、那須どうぶつ王国勤務、NSWAWL(AUS)動物ボランティア留学、自然療法家(P.G.Hom /Gemmotherapist)、Animal Nutrition						
授業の学習内容	ペット（犬・猫）のヘルスケアで最も大切なことの一つは、彼らの身体を作り、栄養源となり、エネルギーを作りだす『食事』を理解することです。本栄養学の授業では、主に家庭で一緒に暮らす犬や猫の健康に役立つ『食』の知識を学びます。犬や猫が食べているものをきちんと知り、一つ一つの栄養素の働きを理解し、食事で犬猫の健康維持ができるようになるスペシャリストを目指してください。また、実習を通して健康に繋がる『食事（＝自然食）』を実際に経験し、将来、オーナー様やお客様に対して、日常における適切な食事の提案やアドバイスを行うことができるようになれるようしっかり学習してください。						
到達目標	食事は生物の身体を作る重要な要素である同時に喜びや楽しみであることを理解できる 五大栄養素（タンパク質・脂質・炭水化物・ビタミン・ミネラル）を学び、働きや役割を理解できる ペットフードに関する一般的な知識を習得し、手作り食と比較しながら、それぞれのメリット・デメリットを理解する 犬猫の自然食（手作り食）の基本を理解し、家庭に取り入れ、行なうことができる知識を習得する 食材や調理法などで、犬猫に与えるときに問題となる事がらについて十分に理解し、注意を促すことができる						
評価方法と基準	定期試験60% 出席日数、授業態度、実習への参加、取り組みの姿勢なども評価の対象とする40% 筆記試験＋出席日数＋取組姿勢を100点換算で評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0）再試験は公欠が認められた者のみ対応する 追試験1回（定期試験と同じ内容）をもってDの評価とする						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義＋実習	五大栄養素：ミネラルについて学ぶ① 主要元素について学び、理解する	実習のための食材を準備する 教科書P.122～124の熟読と理解
2	10月10日	講義＋実習	五大栄養素：ミネラルについて学ぶ② 準主要（微量）元素について学び、理解する	実習のための食材を準備する 教科書P.125～127の熟読と理解
3	10月17日	講義＋実習	ペットフードについて学ぶ① ペットフードのラベルの読み方を理解する	実習のための食材の買い出し、 および調理の準備を時間外学習に充当する （※実習のあるときはいつでも） ※市販ペットフードの外袋を集める （家で与えているものでOK） 教科書：P.21・ペットフードの落とし穴を読む
4	10月24日	講義＋実習	ペットフードについて学ぶ② ペットフードの中身について理解する	
5	10月31日	講義＋実習	ペットフードについて学ぶ③ ペットフードの中身について理解する	
6	11月7日	講義＋実習	ペットフードについて学ぶ④ ペットフードの選び方を理解する	
7	11月14日	講義＋実習	ペットフードについて学ぶ⑤ ペットフードと自然食の違いを理解する	
8	11月21日	講義＋実習	犬猫の食事の基本：犬に与える食事の内容（詳細）の基本を学び、理解する	実習のための食材を準備する 教科書P.46～52、64～67の熟読と理解
9	11月28日	講義＋実習	犬猫の食事の基本：猫に与える食事の内容（詳細）の基本を学び、理解する	実習のための食材を準備する 教科書P.70～79の熟読と理解
10	12月5日	講義＋実習	犬猫の食事の注意点：自然食（手作り食）を与えるときに特に気をつける点を理解する	実習のための食材を準備する 教科書P.18～23、28～30の熟読と理解
11	12月12日	講義＋実習	試験対策：小テスト	後期で学んだことの復習と再理解に努める 配布された資料をファイリングする
12	12月19日	試験	後期試験：60分	試験範囲からの予習と対策
13	1月16日	講義＋実習	試験の内容を振り返り知識の理解を深める	試験範囲の復習 できなかったところをチェックして覚える
14	1月23日	講義＋実習	注目の栄養素：酵素栄養学、食物繊維、フィトケミカルについて理解する	実習のための食材を準備する 教科書P.130～136の熟読と理解
15	1月30日	講義＋実習	ステージ別の食事：命の大切さとそれを支える食事の重要性を理解する	実習のための食材を準備する 教科書P.53～59、80～84の熟読と理解
準備学習　時間外学習			実習のための食材を準備し、授業でその栄養素について学ぶことで犬猫の食事対して興味を促す	

【使用教科書・教材・参考書】

「もう迷わない！ペットの健康ごはん」本村伸子著（コロ出版）、講師が準備する資料

科目名	ビューティー＆キャット演習Ⅰ	必修選択	選択	年次	2・3	担当教員	江本優貴
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼ー）	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	ペットサロン勤務、訪問トリミングホームトリマー所属						
授業の学習内容	トリミング業界で行われているサービスを勉強します 日々進化する業界の流れについていき、新たな知識や技術を習得するための力をつけます						
到達目標	1）就職後活躍していくための知識、技術を習得する 2）新しいもの・事を考え、生み出す力をつける 3）ウィッグのデザインを考え、ブラッシングを終了する						
評価方法と基準	1)定期テスト70％ 2）ウィッグのブラッシング、デザイン画提出30％						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義（252）	ペット業界におけるエステ・サービスを学習する	配布した資料を熟読する
2	4月26日	講義＋演習	フォトジェニックの背景の作り方・撮影方法を学ぶ	背景を使用し犬（ウィッグも可）と撮影
3	5月10日	講義＋演習（252）	デザインカット案の記入方法を学習する	ウィッグのブラッシング デザイン画記入
4	5月17日	講義（252）	パックの種類や方法を学習する	ウィッグのブラッシング デザイン画記入
5	5月24日	講義実習	ハーブパックの手順を理解する	ウィッグのブラッシング デザイン画記入
6	5月31日	講義実習	ハーブパックの手順を理解する	ウィッグのブラッシング デザイン画記入
7	6月14日	講義実習	犬にデザインカットを行っているところを見て 実際にカットできるデザインを考える	ウィッグのブラッシング デザイン画記入
8	6月21日	講義実習	シルクの泡パックの手順を理解する	ウィッグのブラッシング デザイン画記入
9	6月28日	講義実習	シセルリノの手順を理解する	ウィッグのブラッシング デザイン画記入
10	7月5日	講義実習（252）	デザイン画記入を実践する	ウィッグのブラッシング デザイン画記入
11	7月12日	講義実習	ポイント（耳・尾）のカラーリング方法を学ぶ	ウィッグのブラッシング デザイン画記入
12	7月19日	講義実習	ボディのカラーリング方法を学ぶ	ウィッグのブラッシング デザイン画記入
13	8月30日	講義(252)	猫種とボディタイプ	ウィッグのブラッシング デザイン画記入
14	9月6日	試験（252）	筆記試験の実施・ウィッグ、デザイン画提出	ウィッグのブラッシング デザイン画記入
15	9月13日	講義（252）	試験返却、振り返り	試験振り返り
準備学習　時間外学習			予習・復習　ウィッグ準備　等	

【使用教科書・教材・参考書】

筆記用具、演習着（演習・講義実習時）、トリミング道具、ウィッグ等

科目名	トリミング演習ＥＩ	必修選択	選択	年次	2・3	担当教員	江本優貴
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼ー）	授業形態	演習	総時間（単位）	90 3		
教員の略歴	ペットサロン勤務・ホームトリマー所属						
授業の学習内容	就職時に必要なトリミングの技術を学びます トリミング業界で行われているサービスを実践し学習します 様々なモデル犬をトリミングすることでコントロール方法や保定方法を学びます						
到達目標	就職後活躍できるトリミング技術を身につける 各種エステの知識を身につけ実践することができる 就職後も学ぶ・技術を向上させる、心を作る						
評価方法と基準	定期試験　100％ 試験時に指定されたエステを学んだ知識・手順で行い、ベーシックを実践する（1時間30分以内）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	演習	1年次の復習を行い 演習の流れを確実に行う	演習ノートの作成
2	4月26日	演習	1限で学んだ 基本的な撮影方法を実践する	演習ノートの作成
3	5月10日	演習	泥パックを実践し理解する	演習ノートの作成
4	5月17日	演習	ジェルパックの手順を実践し 理解する	演習ノートの作成
5	5月24日	演習	ハーブパックを手順を実践し理解する	演習ノートの作成
6	5月31日	演習	ハーブパックを手順を実践し理解する	演習ノートの作成
7	6月14日	演習	ホイップアロマバスの手順を実践し理解する	演習ノートの作成
8	6月21日	演習	シルクの泡パックの手順を実践し理解する	演習ノートの作成
9	6月28日	演習	シセルリノの手順を実践し理解する	演習ノートの作成
10	7月5日	演習	ハーブパックの効果を理解し、 演習時に説明することができる	演習ノートの作成
11	7月12日	演習	ハーブパックの効果を理解し、 演習時に説明することができる	演習ノートの作成
12	7月19日	演習	シルクの泡パックの効果を理解し、 演習時に説明することができる	演習ノートの作成
13	8月30日	演習	ハーブパック（クリア）の手順を実践し、効果を知る	演習ノートの作成
14	9月6日	試験	実技試験	演習ノートの作成
15	9月13日	講義	試験の振り返り	演習ノートの作成
準備学習　時間外学習			予習・復習　ウィッグ準備　等	

【使用教科書・教材・参考書】

筆記用具、演習着（演習・講義実習時）、トリミング道具、ウィッグ等

科目名	グルーミング演習ＡⅠ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	江本優貴
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 2		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）						
教員の略歴	ペットサロン勤務、ホームトリマー所属						
授業の学習内容	基礎グルーミングの技術を習得することができます。 また、スピードアップに向けての技術の向上を目指します。 技術の向上だけでなく、接客、犬のコントロール、コミュニケーション能力を学ぶことができるのがこの授業の特徴です。						
到達目標	犬のコントロールや犬種別のグルーミングの基礎技術、カットを習得することができます。 また、グルーミング犬種のスピードアップを計り確実に時間内に終える技術を習得することができます。						
評価方法と基準	定期試験100%（14週目に実技試験） グルーミング犬種の基本作業であるベーシック、コントロール、ツールの扱いの基礎が時間内に終えられるようになること ☆グルーミング犬種のブローまで（1時間）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義	グルーミングとは・触れ合い方・ボディランゲージ	トリミング日誌の記入＆提出
2	4月23日	講義実習	大型犬、小型犬の基礎グルーミングを学び実践することができる	トリミング日誌の記入＆提出
3	5月7日	演習	モデル犬とコミュニケーションをとり、ベイジング方法を学ぶ	トリミング日誌の記入＆提出
4	5月14日	演習（防災訓練）	ベーシックを中心にグルーミングをし、クリッピングや爪切りの技術を習得及び復習することができる	トリミング日誌の記入＆提出
5	5月21日	演習	クリッピングのステップアップ、スピードアップを確実なものにすることができる	トリミング日誌の記入＆提出
6	6月4日	演習	爪切りのステップアップ、スピードアップを確実なものにすることができる	トリミング日誌の記入＆提出
7	6月11日	演習	クリッピング及び爪切りをステップアップし、スピードアップを計ることができる	トリミング日誌の記入＆提出
8	6月18日	演習	シザーを使い足周りのカットの技術を習得及び復習をすることができる	トリミング日誌の記入＆提出
9	6月25日	演習	クリッピング及び爪切り、足周りのカットのスピードアップを計ることができる	トリミング日誌の記入＆提出
10	7月2日	演習	クリッピング及び爪切り、足周りのカットのスピードアップを確実なものにすることができる	トリミング日誌の記入＆提出
11	7月9日	演習	前回までのベーシックのステップアップを計り、飾り毛のカットを習得することができる	トリミング日誌の記入＆提出
12	7月17日	演習	ベーシックを中心に、足周り及び飾り毛のカットを確実に習得することができる	トリミング日誌の記入＆提出
13	8月27日	演習	試験前にトータル時間及び仕上がりを確実にし、問題点を解決を目指す	トリミング日誌の記入＆提出
14	9月3日	試験	グルーミング犬種のベーシックを一時間で終えることができる	トリミング日誌の記入＆提出
15	9月10日	演習	テストでできなかったことを復習し、徹底することができる	トリミング日誌の記入＆提出
準備学習　時間外学習			トリミング日誌の記入＆提出で充当	

【使用教科書・教材・参考書】 グルーミングツール、実習着など

科目名	グルーミング演習ＡⅡ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	江本優貴
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	演習	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	ペットサロン勤務、ホームトリマー所属						
授業の学習内容	基礎グルーミングの技術を習得することができます。 また、スピードアップに向けての技術の向上を目指します。 技術の向上だけでなく、接客、犬のコントロール、コミュニケーション能力を学ぶことができるのがこの授業の特徴です。						
到達目標	犬のコントロールや犬種別のグルーミングの基礎技術、カットを習得することができます。 また、グルーミング犬種のスピードアップを計り確実に時間内に終える技術を習得することができます。						
評価方法と基準	定期試験100%（12週目に実技試験） グルーミング犬種の基本作業であるベーシック、コントロール、ツールの扱いの基礎が時間内に終えられるようになること ☆グルーミング犬種を飼い主様のオーダー通りに仕上げ、1～1.5時間で終了させることができる						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	演習	ベーシックは1時間半とし、飾り毛のカットを含め2時間以内で終了する技術を習得する	トリミング日誌の記入＆提出
2	10月8日	演習	ベーシックを含め、基礎のステップアップを計り2人で2時間以内終了することができる	トリミング日誌の記入＆提出
3	10月15日	演習	ベーシックを含め、2人で2時間以内終了することを目標として演習を行うことができる	トリミング日誌の記入＆提出
4	10月22日	演習	ベーシックを含め2人で2時間以内終了できる技術をより確実なものにすることができる	トリミング日誌の記入＆提出
5	10月29日	演習	ベーシックを含め2人で1時間半以内に終了することができる	トリミング日誌の記入＆提出
6	11月5日	演習	ベーシックを含め1時間半で終了することができる	トリミング日誌の記入＆提出
7	11月12日	演習	ベーシックを含め1人で1時間半で終了することができる	トリミング日誌の記入＆提出
8	11月19日	演習	ベーシックを含め1人で1時間半で終了、前回までのカット技術の復習とスピードアップを計る	トリミング日誌の記入＆提出
9	11月26日	演習	ベーシックを含め1人で1時間半で終了、カット技術の復習とスピードアップを計る	トリミング日誌の記入＆提出
10	12月3日	演習	ベーシックを含め1人1時間半で終了、2人の場合は1時間を目標にスピードアップを計る	トリミング日誌の記入＆提出
11	12月10日	演習	試験に向けてトータル時間の徹底、リボン付けを確実なものにする	トリミング日誌の記入＆提出
12	12月17日	試験	グルーミング犬種を飼い主様のオーダー通りに仕上げ1～1.5時間で終了させることができる	トリミング日誌の記入＆提出
13	1月21日	演習	テストでできなかったことを復習し、徹底することができる	トリミング日誌の記入＆提出
14	1月28日	演習	自分の問題点を意識してステップアップを計る	トリミング日誌の記入＆提出
15	2月4日	演習	１年間の振り返り	トリミング日誌の記入＆提出
準備学習　時間外学習			トリミング日誌の記入＆提出で充当	

【使用教科書・教材・参考書】 各シザー、スリッカーなどのツール

科目名	Webマーケティング論Ⅰ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	松山智彦
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼ー）						
教員の略歴	金融系システムエンジニア、ITコンサルタント、ネット専業証券会社広報						
授業の学習内容	・社会人として必要なマーケティング全体を広く浅く学習（基本座学） ・デジタルマーケティグに必要な用語、方法、事例を学習 ・WEBサイトやサイト運営者の考え、狙いを分析 ・卒業後に仕事場にて、特にデジタル分野、マーケティング分野において基本的な知識を学習						
到達目標	・デジタルマーケティング全体像とIoT（DX)の基本的な理解 ・デジタルマーケティングの基本的な用語、方法の理解 ・ブランディング、他社との差別化を図るための戦略立案力を付ける ・SNSの多様化 web広告の仕組み・運用の理解						
評価方法と基準	出席20%、期末試験50%、授業態度及び課題30%の100%満点 課題はフィードバック（および授業中で発表）します。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4/18	講義	ガイダンス、授業の進め方	
2	4/25	講義	デジタルマーケティングの基礎知識① デジタルマーケティングの特徴、トレンド	①①予習は特に不要だが、出てきた重要用語を復習しておくこと ②興味のあるWEBサイト等を、どういう意図、目的等をマーケティングの視点で調べておくこと
3	5/9	講義	デジタルマーケティングの基礎知識② 最新デジマ事例	
4	5/16	講義	競合サイトと差別化① WEBサイト、SEO	
5	5/23	講義	競合サイトと差別化② 顧客の流入、PV数、直帰率、WEBライティング	
6	5/30	講義	競合サイトと差別化③、見込み客をファンに① AR VR ホワイトペーパー	
7	6/13	講義	見込み客をファンに② SNS(TW,FB,LINE,TikTok)	
8	6/20	講義	CVの極意① CVR、UI、UX	
9	6/27	講義	CVの極意②、データ活用法① ヒートマップ、再訪率	
10	7/4	講義	データ活用法② ICタグ、ビックデータ活用事例	
11	7/11	講義	データ活用法③ CRM成功事例、MAで見込み客育成	
12	7/18	講義	AI×５G① マーケテングの未来	
13	8/29	講義	前期の復習	理解できていない箇所の確認
14	9/5	講義	筆記試験	
15	9/12	講義	筆記試験の解答・解説 前期全体の復習、後期のガイダンス	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 デジタルマーケティング見るだけノート（宝島社）：Teamsのファイルに格納

科目名	WEBマーケティング論Ⅱ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	松山智彦
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼ー）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	金融系システムエンジニア、ITコンサルタント、ネット専業証券会社広報						
授業の学習内容	・社会人として必要なマーケティング全体を広く浅く学習（基本座学） ・デジタルマーケティグに必要な用語、方法、事例を学習 ・広報担当者として、何ができるかの立案 ・卒業後に仕事場にて、特にデジタル分野、マーケティング分野において基本的な知識を学習						
到達目標	・デジタルマーケティング全体像とIoT（DX)の基本的な理解 ・デジタルマーケティングの基本的な用語、方法の理解 ・ブランディング、他社との差別化を図るための戦略立案力を付ける ・SNSの多様化 web広告の仕組み・運用の理解						
評価方法と基準	出席20%、期末試験50%、授業態度及び課題30%の100%満点 課題はフィードバック（および授業中で発表）します。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	9/26	講義	マーケテンングの基礎知識① 歴史から	前期で学んだことを復習・確認
2	10/3	講義	SNSマーケテンングの基本	①予習は特に不要だが、出てきた重要用語を復習しておくこと ②興味のあるWEBサイト等を、どういう意図、目的等をマーケティングの視点で調べておくこと ③自分自身をブランディングする場合、どのような展開・構成にするかを考えておくこと
3	10/10	講義	SNSマーケテンングの戦略	
4	10/17	講義	フォロワーの意味・コミュニケーションルール①	
5	10/24	講義	フォロワーの意味・コミュニケーションルール②	
6	10/31	講義	ユーザに好かれるシェア・されるコンテンツ①	
7	11/14	講義	ユーザに好かれるシェア・されるコンテンツ②	
8	11/21	講義	ユーザに好かれるシェア・されるコンテンツ③	
9	11/28	講義	SNSから販売につなげる秘訣	
10	12/5	講義	炎上のリスク	
11	12/12	講義	後期の復習	理解しているところとしていないところを確認する
12	12/19	講義	筆記試験	
13	1/16	講義	筆記試験の解答・解説	
14	1/23	講義	SNS運用の基本	
15	1/30	講義	個人情報保護法 後期全体の復習	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

SNSマーケテング見るだけノート（宝島社）：Teamsのファイルに格納

科目名	アニマルトレーニング Ⅰ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	石綿美香
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	上智大学外国語学部英語学科卒、英国出版社Euromoney勤務、D.I.N.G.O.副代表,ALETTA代表						
授業の学習内容	アニマルウェルフェアを考えるうえで欠かせないトレーニング。 人道的かつ科学的（動物行動学、行動分析学等）な方法を学ぶことを目標とする。 座学と実技を交互に実践することで、理解を深める。 またそれらをプロフェッショナルとして、他者に伝える事の練習。 実技部分に関しては、ALETTAバード・トレーニング・インストラクタータ達が直接学生の指導にあたる。						
到達目標	トレーニングに関する基礎知識と技術を身につけ、就職後にはそれらを向き合う動物に活かし、また他者に伝えられるようになることを目標とする。						
評価方法と基準	定期試験　70% 小試験とレポート　20% 授業参加熱意　10% 筆記試験評価：S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	ZOOM/対面	この授業で目指すこと アニマルウェルフェアとトレーニング	本講座の目的と個々の目標確認
2	4月23日	ZOOM/対面	良いトレーニングのための下準備	相手を正しく知る（食事、体調、強化子など）
3	5月7日	ZOOM/対面	担当動物の情報共有/ボディサイン 観察と反応	動物のボディサインを知り、人間が適切な対応ができるようになること
4	5月14日	ZOOM/対面	PORTLとは？ 強化システムについて	The Portable Operant Research and Teaching Labで学習の仕組みを体験・強化システム作り
5	5月21日	ZOOM/対面	トレーニングを効果的に進めるためのデータ	強化システム作とデータシート作り
6	6月4日	ZOOM/対面	PORTL（適切な強化ためのデリバリー＋強化シグナル）	強化システム作り
7	6月11日	ZOOM/対面	PORTL（ダイアグラム作り）	強化システム作り
8	6月18日	ZOOM/対面	PORTL（タイミング練習）	強化システム作り
9	6月25日	ZOOM/対面	PORTL（強化子システムスキル査定）	強化システム作り
10	7月2日	ZOOM/対面	PORTL（分化強化：オブジェクトとアクション）	ターゲットトレーニング
11	7月9日	ZOOM/対面	PORTL（消去）	ターゲットトレーニング
12	7月16日	ZOOM/対面	コンストラクショナル・アプローチについて	ターゲットトレーニング
13	8月27日	ZOOM/対面	前期復習とQ&A	これまで学んだことの復習と質疑応答
14	9月3日	ZOOM/対面	試験	テスト
15	9月10日	ZOOM/対面	試験答え合わせ等	テストの解説と今期の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 PORTL インコのための最高のお世話

科目名	アニマルトレーニングⅢ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	石綿美香
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	上智大学外国語学部英語学科卒、英国出版社Euromoney勤務、D.I.N.G.O.副代表,ALETTA代表						
授業の学習内容	アニマルウェルフェアを考えるうえで欠かせないトレーニング。 人道的かつ科学的（動物行動学、行動分析学等）な方法を学ぶことを目標とする。 座学と実技を交互に実践することで、理解を深める。 またそれらをプロフェッショナルとして、他者に伝える事の練習。 実技部分に関しては、ALETTAバード・トレーニング・インストラクタータ達が直接学生の指導にあたる。						
到達目標	トレーニングに関する基礎知識と技術を身につけ、就職後にはそれらを向き合う動物に活かし、また他者に伝えられるようになることを目標とする。						
評価方法と基準	定期試験　70% 小試験とレポート　20% 授業参加熱意　10% 筆記試験評価：S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	ZOOM/対面	今年この授業で目指すこと アニマルウェルフェアとトレーニング	本講座の目的と個々の目標確認、担当動物の情報収集
2	4月23日	ZOOM/対面	担当動物の情報収共有（発表）	担当動物アセスメント
3	5月7日	ZOOM/対面	トレーニングシートの作り方とトレーニングプランディスカッション	プランに基づいたトレーニング
4	5月14日	ZOOM/対面	トレーニングシートの作り方とトレーニングプランディスカッション	プランに基づいたトレーニング
5	5月21日	ZOOM/対面	トレーニングシートの作り方とトレーニングプランディスカッション	プランに基づいたトレーニング
6	6月4日	ZOOM/対面	PORTL（キャプチャとトランスファ）	トランスファを使ったトレーニングプロジェクト
7	6月11日	ZOOM/対面	トレーニングに必要な学習の仕組み	トランスファを使ったトレーニングプロジェクト
8	6月18日	ZOOM/対面	トレーニングに必要な学習の仕組み	トランスファを使ったトレーニングプロジェクト
9	6月25日	ZOOM/対面	トレーニングに必要な学習の仕組み	トランスファを使ったトレーニングプロジェクト
10	7月2日	ZOOM/対面	トレーニング成果プレゼンテーション準備	準備作業
11	7月9日	ZOOM/対面	トレーニング成果プレゼンテーション	プレゼン
12	7月16日	ZOOM/対面	人道的トレーニングの歴史と基準LIMAとLIFE	その個体に必要な行動のトレーニング
13	8月27日	ZOOM/対面	前期復習とQ&A	これまで学んだことの復習と質疑応答
14	9月3日	ZOOM/対面	試験	テスト
15	9月10日	ZOOM/対面	試験答え合わせ等	テストの解説と今期の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 PORTL インコのための最高のお世話

科目名	クラフトテクニックⅠ	必修選択	選択	年次	2・3	担当教員	小山奈穂
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	㈱MOLTON代表、麻布大学共同研究員、動物園ランドスケープ会議世話人、SHAPE-Japanメンバー						
授業の学習内容	動物園水族館の役割に関する世界の潮流を知り、「生きた動物を展示すること」の意義を改めて問い直す機会とする。また、生き物や自然環境について正しく伝えるための環境整備や展示技術について学んだうえで、動物園を訪問し動物展示の実地見学を行う。						
到達目標	・世界で提唱されている動物園水族館の目指すべき姿を理解する。 ・当たり前とされていることにも「なぜ」を意識して物事を考えられる。 ・多角的な視点から動物園という組織を捉えることができる。						
評価方法と基準	Teamsを用いたテスト　50% 動物園視察レポート　30% 授業態度　20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	座学	ガイダンス	
2	4月19日	座学	動物園はなんのためにある？ WAZAの提唱する動物園の役割（動物福祉）	
3	5月10日	座学	WAZAの提唱する動物園の役割（保全）	
4	5月10日	座学	WAZAの提唱する動物園の役割（持続可能性）	
5	5月24日	座学	WAZAの提唱する動物園の役割（保全教育）	
6	5月24日	座学	なぜ生きた動物を展示するのだろう？ 動物園だからこそ伝えられること	
7	6月14日	座学	展示を活かすための土台作り 動物の暮らす環境を整える	
8	6月14日	座学	展示技法と展示技術 正しく伝えるための手段とは	
9		学外実習	動物園視察（ズーラシア（仮））	実習で学んだことをレポートにまとめ提出する
10		学外実習	動物園視察（ズーラシア（仮））	実習で学んだことをレポートにまとめ提出する
11		学外実習	動物園視察（ズーラシア（仮））	実習で学んだことをレポートにまとめ提出する
12		学外実習	動物園視察（ズーラシア（仮））	実習で学んだことをレポートにまとめ提出する
13	8月30日	座学	講義の振り返り	
14	9月6日	座学	中間テスト	これまでの復習と試験対策
15	9月13日	座学	試験解答の解説、後期の予定	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 講義スライドの他、以下のPDFデータを配布します。

世界動物園水族館動物福祉戦略、保全戦略、持続可能性戦略、保全教育戦略

科目名	クラフトテクニックⅠ	必修選択	選択	年次	2・3	担当教員	渡辺尋志
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）						
教員の略歴	東京造形大学卒業後、彫刻家として活動。「日本美術家連盟」「新制作協会」「福島県在京美術家連						
授業の学習内容	①水族館などの造形物を実際の素材で造形して作り方を理解することで施設プロデュースのスキルアップになる。 ②擬岩、擬木などの造形物を考える上で、動物行動学、生態学などの知識を充実させる科目が重要になる。 ③水族館等のプロデュースは机上のデザインのみならず、率先して現場作業が出来るようになって欲しい。 ④モノを作り出す時には様々な制約がある。ただ作るのではなく周りの環境や条件をしっかり理解した上でプロデュースできることが重要だと思う。						
到達目標	①FRPの使用法を理解出来る。 ②粘土で形を作ることが出来る。 ③シリコンの使い方を理解出来る。						
評価方法と基準	①出席状況40% ／ 作品制作 40% ／ 理解度20% ②理解度は授業実習中の学生とのやりとりから伺うことで評価する						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1 2	5月27日	講義 実習	FRPについてのレクチャーでFRPを理解する FRPの基本工程：既存のステンレス皿の型取りをすることでFRPの作業工程を理解する。	学生準備物 ステンレス皿（100円ショップ）の準備 エプロン マスク 使い捨てゴム手袋など
3 4	6月3日			
5 6	6月10日	講義 実習	水槽の内部に飾る擬岩の設計図を三画投影法で描く。次回粘土で作る擬岩を想定してシリコン型取り用の木枠を作る。	準備物：スケッチブック、鉛筆／型枠用板材ほか
7 8	6月17日	実習	設計図を参考に粘土で擬岩を作る。{シリコンの流し込み一層目}{ガーゼの貼り込み}	準備物：粘土／シリコン／ガーゼほか
9 10	6月24日	実習	{シリコンの流し込み2層目}（シリコン硬化時間約1時間～2時間／気温、硬化剤で変化） 石膏のバックアップ作りを理解して制作できる	準備物：シリコン／石膏ほか
11 12	7月1日	実習	シリコンから粘土を抜き取り、FRPの貼り込み	準備物：FRP材料／アセトンほか
13 14	7月8日	実習	シリコン型から抜きとることが出来る ペンキ、アクリル絵の具で着色	準備物：ペンキ／アクリル絵の具／紙パレット／筆／筆洗ほか
15	7月22日	講義	作業工程のレポートをPCで作成して提出できる。Word、PowerPointなどを使える。	提出期限：9月2日(月)担任へ提出 提出したレポートはデータとしてPCまたはUSBメモリーなどに保存
準備学習 時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	プレゼンテーション Ⅰ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	野崎広治
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	不動産会社・金融コンサルタントを経て、独立。現在は、キャリア相談、採用コンサル、企業研修講師などの活動を行う						
授業の学習内容	●プレゼンテーションと聞くと「発表」という印象が強いが、広く考えると「自分を表現する方法」である。人間関係、仕事など様々な場面において、より良い結果を導くための考え方、表現、発信の方法を学ぶ。 ●社会で必要とされること、就職後起こりうることをテーマとして取り上げる。自分の意見を伝える、他人の意見を聞く、対話においてお互いを尊重し、より良い結果につなる力を身につけ、実習や社会で必要とされる人材へと成長して欲しいと願う。 ●本授業は、講師と学生・学生同士のディスカッションなど双方向の展開とする。そのため、普段一緒にいる仲の良い友人以外の学生との交流、講師への発表などは率先して行うこと。授業の質を高めるか、こなすだけ授業にするかは、学生の取り組み姿勢も影響することを忘れないで欲しい。 ●知識と技術は授業で学んだだけでは、習得（自分のもの）にすることができない。使いこなすために、学んだことは日常生活で実践を兼ねた復習を必ず行うこと。※CSUと関連性がある内容も含むため、CSU学んだことは理解している前提で授業を進める。 ●授業内容は学生のリクエスト、状況を見て変更することがある。 ●スマートフォンを活用したワークを行う場合があるため、充電をしっかりしておくこと。						
到達目標	＜論理思考（ロジカルシンキング）＞ 発言・発表・資料・レポートなどの的確なアウトプットを目指す。物事を整理して正しくアウトプットする土台を作る						
評価方法と基準	授業運営に大きな変更が生じた場合は変更する場合がある。 ①試験：50%・・・100点を1/2 にする ②授業態度・提出物50% ※②について、授業中の睡眠・電子機器の無許可使用・隠れて使用・人を馬鹿にする行為・仲間外れは即0点とする ※提出日までに各自講師へ提出（毎回のアナウンスはしない）。欠席・公欠・分散登校・休講などの理由により、提出日までに提出できない場合は、講師控え室の講師トレーに提出すること（受付窓口に依頼） ※授業進行に影響のでる私語・授業態度の場合は、0点とし担任と面談の指示、座席の指定を行う ※①は評価表を用いて行う（評価項目、評価項目において基準を用いた評価） ※①②から最終評価を出す。（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 追試・・・筆記試験　※持ち込み不可						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	本授業の取り組み方がわかる プレゼンテーションの捉え方がわかる	状況に応じて設定
2		講義・演習	論理思考①：論理の意味の理解、論理の流れがわかり、簡単な論理を作るすることができる	状況に応じて設定
3		講義・演習		状況に応じて設定
4		講義・演習		状況に応じて設定
5		講義・演習	論理思考②：論理の意味の理解、論理の流れがわかり、論理を踏まえたプレゼンができる	状況に応じて設定
6		講義・演習		状況に応じて設定
7		講義・演習	資料作成：資料作成を作成し、原稿を読まずにプレゼンテーションができる	状況に応じて設定
8		講義・演習		状況に応じて設定
9		講義・演習	セルフマネジメント：物事の捉え方を学び、様々な事象に対して、効果的な解を出せる	状況に応じて設定
10		講義・演習		状況に応じて設定
11		講義・演習	グループプレゼンテーション① プレゼンに向けて情報収集を行う	グループ進捗により各自作業
12		講義・演習	グループプレゼンテーション② 情報収集の続きと、発表資料作成□	グループ進捗により各自作業
13		講義・演習	グループプレゼンテーション③ 発表資料作成の続きと発表・フィードバック□	グループ進捗により各自作業
14		講義・演習	試験	なし
15		講義・演習	評価の仕組みを知る。前期の振り返りを行い、学びの言語化、後期へ向けた行動を明確にし成長	後期の学生生活の過ごし方を考える
準備学習　時間外学習			授業前課題・授業後の課題などあり。適宜提示	

【使用教科書・教材・参考書】

講師作成資料　Teams　※PC、スマートフォン、タブレッドなどの電子機器は許可した場合のみ使用可能

科目名	応用行動分析学Ⅰ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	落合知美
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）						
教員の略歴	農学修士、大学勤務（京都大学霊長類研究所、東京大学農学研究科、武庫川女子大学）、NPO法人市民ZOOネットワーク理事						
授業の学習内容	動物は名前の通り「動く物」であり、その動き(行動)を科学的に理解することは、動物を正しく理解することにつながる。動物種それぞれの行動は、生息環境やその変化に合わせ、長い時間をかけて選択され、淘汰され、進化してきた。そのため、動物を飼育する場合、その行動とともに生態や社会の理解がとても重要となる。 本講義では、心理学(Psycology)や動物行動学（Ethology）の学問を基本として、ヒトを含む動物種全体について学ぶとともに、行動分析学に至るまでの行動の科学的な捉え方について学ぶ。授業はZOOMでおこない、授業時間中にレポートを完成させ提出する。						
到達目標	・動物園の動物種ごとの行動について理解する ・動物行動学（Ethology）の概要を知る ・スキナーの心理学(Psycology)について知る ・アニマルウェルフェアや環境エンリッチメントについて理解する ・自分の意見や感想を表現することができる						
評価方法と基準	授業ごとのレポートと授業態度　20% 学期末の筆記試験　80%						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義	イントロダクション：教員の紹介と前期の授業内容、講義の進め方について	自分の考えを表現する方法について
2	4月25日	講義	家畜と野生動物の行動の違い。進化の基本と、淘汰と選択について学ぶ。	さまざまな飼育動物について知っておく。動物（ヒトも含む）の行動に興味を持ち、考える
3	5月9日	講義	動物園動物に発現する行動と、その問題について。常同行動について知る。	
4	5月16日	講義	動物行動学（Ethology）の歴史。ローレンツやティンバーゲンについて知る。	
5	5月23日	講義	スキナーの心理学。オペラント条件づけや強化スケジュールについて理解する。	
6	5月30日	講義	チンパンジーのショー利用。実際におこなわれている馴致や調教について知る。	実際の映像などを見て、動物飼育やパフォーマンスについて正しく理解し、考える
7	6月13日	講義	本能と学習、社会行動について。事故事例や引退個体の問題について。	
8	6月20日	講義	動物園のゾウは幸せなのか？井の頭自然文化園はな子さんの例を参考に。	
9	6月27日	講義	アニマルウェルフェアについて。動物福祉と動物の権利、功利主義の考え方について。	アニマルウェルフェアや環境エンリッチメントについて正しく理解をする。 さまざまな考え方について理解する
10	7月4日	講義	初期の環境エンリッチメント：ハル・マーコウィッツからシェファードソンまで	
11	7月11日	講義	環境エンリッチメント：その内容と5つのカテゴリー、動物種ごとの行動を理解する	
12	7月18日	講義	環境エンリッチメント：日本の動物園と環境エンリッチメントの発展を知る。	日本の動物園で実施されている環境エンリッチメントについて関心を持つ
13	8月29日	講義	≪復習≫動物の行動を理解し、環境エンリッチメントに至るまでの道筋を理解する	今までの講義の疑問点を明らかにしておく
14	9月5日	講義・試験	テスト対策・60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15	9月12日	講義	テスト結果からの振り返り、後期に向けて	試験範囲からの復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 いま動物園がおもしろい（2004）市民ZOOネットワーク、動物翻訳家（2015）片野ゆか
ソロモンの指輪：動物行動学入門（1949）コンラート・ローレンツ、生物から見た世界（1933）ユクスキュル、クリサート著

科目名	公衆衛生	必修選択	選択	年次	2	担当教員	高山清次
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	麻布大学大学院博士課程修了（獣医学博士）						
授業の学習内容	感染症のしくみを学び、理解し明確な知識を持って、動物関係の仕事をする時、感染症の予防をするとき、この知識を役立てる。						
到達目標	この科目を受講した学生が、動物飼育の仕事に携わる時、感染予防の知識を持って、行動できることを目標とする。						
評価方法と基準	定期試験の結果（80%）に出席点・小テスト等（20%）を加味して評価する。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	感染症の成立を理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
2		講義	感染と発症を理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
3		講義	感染経路について理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
4		講義	滅菌法、消毒法について理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
5		講義	①ワクチンについて理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
6		講義	②ワクチンについて理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
7		講義	細菌：①大きさ、構造について、理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
8		講義	細菌：②分類について、理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
9		講義	細菌：③予防法と治療について理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
10		講義	細菌：④細菌感染症について、理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
11		講義	特殊な細菌：①マイコプラズマについて理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
12		講義	特殊な細菌：②クラミジアについて理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
13		講義	特殊な細菌：③リケッチアについて理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
14		試験	講義範囲の評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15		講義	評価試験返却・解説・まとめ	講義範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

学校の図書室にある感染予防学関係の本やインターネットを利用する。

科目名	公務員対策講座Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	脇坂文栄
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼ー）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		

教員の略歴	
授業の学習内容	①中学高校で学んだ基本的な知識の復習、各種試験の演習を通して、公務員試験、並びに採用試験の一般教養テストの対策を行う。 ②講義と演習を通して、社会人として必要とされる一般教養を身につける。 ③時事問題について学びながら常に世の中の動きを意識する習慣をつけ、採用の際の作文課題や面接試験に備える
到達目標	①公務員試験や採用試験に合格するための正解率を目標とする。 ②仕事場でさまざまなバックグラウンドを持つにと他人と交流することを想定し、広い分野の知識を増やし、円滑なコミュニケーションが取れるようにする。
評価方法と基準	出席点・授業態度・課題・小テストなど 50% 期末テスト 50%

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	講義概要	①毎回の授業で宿題の答え合わせをするので、必ず問題に目を通し、わかる問題は解いておくこと。 ②ニュース等を通じて、常に世の中で起こっていることを知っておくようにすることが望ましい。 ③授業で学んだことの中で興味のある分野については、関連図書を読むなど、自ら積極的に知識を増やすよう努力することが望ましい。
2		講義・演習	公務員試験 一般知識 人文科学 ①(国語)	
3		講義・演習	公務員試験 一般知識 社会科学 ①（政治Ⅰ）	
4		講義・演習	公務員試験 一般知識 自然科学 ①（数学）	
5		講義・演習	公務員試験 一般知識 人文科学 ② （地理・倫理/社会）	
6		講義・演習	公務員試験 一般知識 社会科学 ②（経済）	
7		講義・演習	公務員試験 一般知識 自然科学 ②（物理・化学）	
8		講義・演習	公務員試験 一般知識 人文科学 ③（歴史）	
9		講義・演習	公務員試験 一般知識 社会科学 ③（社会）	
10		講義・演習	公務員試験 一般知識 自然科学 ③（生物・地学）	
11		講義・演習	公務員試験 一般知識 人文科学 ④（文学・芸術）	
12		講義・演習	公務員試験 一般知識 社会科学 ④（政治Ⅱ）	
13		講義・演習	前期授業の復習	
14		試験	前期試験	
15		講義	試験解答の確認・解説	
準備学習 時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

①合格公務員！教養試験実践問題集2025年度版 ②最新最強の地方公務員 初級’24年度版

科目名	公務員対策講座Ⅲ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	脇坂文栄
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴							
授業の学習内容	①中学高校で学んだ基本的な知識の復習、各種試験の演習を通して、公務員試験、並びに採用試験の一般教養テストの対策を行う。 ②講義と演習を通して、社会人として必要とされる一般教養を身につける。 ③時事問題について学びながら常に世の中の動きを意識する習慣をつけ、採用の際の作文課題や面接試験に備える						
到達目標	①公務員試験や採用試験に合格するための正解率を目標とする。 ②仕事場でさまざまなバックグラウンドを持つにと他人と交流することを想定し、広い分野の知識を増やし、円滑なコミュニケーションが取れるようにする。						
評価方法と基準	出席点・授業態度・課題・小テストなど 50% 期末テスト 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	講義概要	①毎回の授業で宿題の答え合わせをするので、必ず問題に目を通し、わかる問題は解いておくこと。 ②ニュース等を通じて、常に世の中で起こっていることをを知っておくようにすることが望ましい。 ③授業で学んだことの中で興味のある分野については、関連図書を読むなど、自ら積極的に知識を増やすよう努力することが望ましい。
2	4月24日	講義・演習	公務員試験 一般知識 人文科学 ①（国語）	
3	5月8日	講義・演習	公務員試験 一般知識 社会科学 ①（政治Ⅰ）	
4	5月15日	講義・演習	公務員試験 一般知識 自然科学 ①（数学）	
5	5月22日	講義・演習	公務員試験 一般知識 人文科学 ② （地理・倫理/社会）	
6	6月5日	講義・演習	公務員試験 一般知識 社会科学 ②（経済）	
7	6月12日	講義・演習	公務員試験 一般知識 自然科学 ②（物理・化学）	
8	6月19日	講義・演習	公務員試験 一般知識 人文科学 ③（歴史）	
9	6月26日	講義・演習	公務員試験 一般知識 社会科学 ③（社会）	
10	7月3日	講義・演習	公務員試験 一般知識 自然科学 ③（生物・地学）	
11	7月10日	講義・演習	公務員試験 一般知識 人文科学 ④（文学・芸術）	
12	7月17日	講義・演習	公務員試験 一般知識 社会科学 ④（政治Ⅱ）	
13	8月28日	講義・演習	前期授業の復習	
14	9月4日	試験	前期試験	
15	9月11日	講義・演習	試験解答の確認・解説	
準備学習 時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

①合格公務員！教養試験実践問題集2025年度版 ②最新最強の地方公務員 初級'24年度版

科目名	キャリアコミュニケーションⅠ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	(株)JPR 松井かおり
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制(昼一)	授業形態	講義	総時間(単位)	30 1		
教員の略歴	研修講師として専門学校・企業・自治体にて活動。認定カウンセラー。若者支援活動の経験も持つ。						
授業の学習内容	社会人としてのコミュニケーションやマナーを習得するとともに、「自身の働き方・キャリア」について考え、仕事への意識を育むことを目指します。具体的に以下の4つを1年間かけて学びます。 ①ビジネスコミュニケーションやビジネスマナーの重要性を理解する ②コミュニケーションやマナー・接遇を、実際の仕事と結びつけて習得する ③自分のキャリア(仕事人生)について考え、キャリアを創造、設計していく ④お店の経営で大切な考え方やたくさんのお客様に来ていただけるお店づくりの基本を学ぶ						
到達目標	①仕事人生(キャリア)のイメージを持ち、目標、ゴールを明確にできる ②コミュニケーションやビジネスマナーを「実際の仕事の場面」で意識することができる ③仕事のしくみや仕事の流れ、仕事のあり方を多角的にとらえることができる ④お店の視点で「より来てもらう・買ってもらえる」ためのマーケティングの基本的な考え方が理解できる						
評価方法と基準	試験課題の完成度・プレゼン　80% 課題提出　10% 授業態度・参加意欲　10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義	【オリエンテーション】授業の目的と意味を理解し、目標設定ができる/メモを習慣化する	前期目標設定
2	4月25日	講義、演習	【ビジネスマナー①】仕事に必要なマナーを理解する/しっかりと丁寧に挨拶することを習慣づける	教科書該当ページ復習
3	5月9日	講義、演習	【ビジネスマナー②】第一印象の好感度をアップする	
4	5月16日	講義、演習	【ビジネスマナー③】敬語のしくみと就活・仕事の場面でよく使うフレーズを習得できる	
5	5月23日	講義、演習	【ビジネスマナー④】ビジネス電話/メールのマナーを理解し、研修・就活先へのメールを	研修依頼電話シナリオ完成
6	5月30日	講義、演習	【就活対策②】就活の身だしなみと面接マナーを理解する　※スーツ着用	面接シート作成
7	6月13日	講義、演習	【就活対策①】面接官の立場に立ち、採用されるためのポイントがイメージできる　※面接練習	
8	6月20日	動画視聴	【キャリア設計①】学生と社会人との違いを知り、社会人になるとはどういうことか理解できる	キャリアノート作成
9	6月27日	講義、演習	【キャリア設計②】仕事をしていくことの意味を考え、キャリアイメージを作ることができる	
10	7月4日	講義、演習	【キャリア設計③】自身の強みを明確にし、強みを活かして仕事をしていくことが考えられる	
11	7月11日	講義、演習	【キャリア設計③】「どんな仕事がしたいか」だけでなく、「どのように仕事をしたいか」を考えることができる	
12	7月18日	講義、演習	【キャリア設計④】※企業分析　目指す仕事の具体的な業務などを知ることできる	プレゼン準備
13	8月29日	講義、演習	【キャリア設計④】※企業分析　目指す仕事の具体的な業務などを知ることできる	
14	9月5日	試験	【前期試験】企業分析プレゼン	プレゼン振り返り
15	9月12日	講義、演習	【振り返り】研修の振り返りと授業の振り返りを通して自身の課題や目標を明確にできる	後期目標設定
準備学習　時間外学習			事後学習として課題を仕上げます	

【使用教科書・教材・参考書】

使用教科書:実践！キャリアコミュニケーション　教材/スライド資料・ワークブック

科目名	キャリアコミュニケーションⅡ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	(株)JPR 松井かおり
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）						
教員の略歴	研修講師として専門学校・企業・自治体にて活動。認定カウンセラー。若者支援活動の経験も持つ。						
授業の学習内容	社会人としてのコミュニケーションやマナーを習得するとともに、、「自身の働き方・キャリア」について考え、仕事への意識を育むことを目指します。具体的に以下の4つを1年間かけて学びます。 ①ビジネスコミュニケーションやビジネスマナーの重要性を理解する ②コミュニケーションやマナー・接遇を、実際の仕事と結びつけて習得する③自分のキャリア（仕事人生）について考え、キャリアを創造、設計していく ④お店の経営で大切な考え方やたくさんのお客様に来ていただけるお店づくりの基本を学ぶ						
到達目標	①仕事人生（キャリア）のイメージを持ち、目標、ゴールを明確にできる ②コミュニケーションやビジネスマナーを「実際の仕事の場面」で意識することができる ③仕事のしくみや仕事の流れ、仕事のあり方を多角的にとらえることができる ④お店の視点で「より来てもらう・買ってもらえる」ためのマーケティングの基本的な考え方が理解できる						
評価方法と基準	試験課題の完成度・プレゼン 80% 課題提出 10% 授業態度・参加意欲 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月26日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション③】仕事の場面で簡潔にわかりやすく「伝える」ためのポイントを習得できる	教科書該当ページ復習
2	10月3日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション②】仕事の場面でしっかり「きく」ためのポイントを習得できる	教科書該当ページ復習
3	10月10日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション④】 スタッフコミュニケーション～指示受け	教科書該当ページ復習
4	10月17日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション⑤】 スタッフコミュニケーション～報告・連絡・相談	教科書該当ページ復習
5	10月24日	講義、演習	【ペット業界のお客様対応①】接遇とは何か？を考え、ペット業界に必要な接遇マインドを理解できる	教科書該当ページ復習
6	10月31日	講義、演習	【ペット業界のお客様対応②】飼い主様対応の様々なシーンで使う接遇用語を習得できる	教科書該当ページ復習
7	11月14日	講義、演習	【ペット業界のお客様対応④】飼い主様からの電話の受け方の流れや言葉使いが習得できる	飼い主様対応電話シナリオ完成
8	11月21日	講義、演習	【マーケティングの基礎①】 看板やPOPの役割と集客のポイントを理解する	課題作成
9	11月28日	講義、演習	【マーケティングの基礎②】 看板制作・POP制作※PC使用	課題作成
10	12月5日	講義、演習	【マーケティングの基礎②】 看板制作・POP制作※PC使用	課題作成
11	12月12日	講義、演習	【マーケティングの基礎②】 看板制作・POP制作※PC使用	課題作成
12	12月19日	試験	【後期試験】看板・POPコンテスト発表会	コンテスト振り返り
13	1月16日	講義、演習	【お客様対応・応用編】 クレームのとらえ方と初期対応について理解できる	教科書該当ページ復習
14	1月23日	講義、演習	【お客様対応・応用編】難しい場面での伝え方＆購入意欲を高める説明力を理解できる	教科書該当ページ復習
15	1月30日	講義、演習	【振り返り】1年間の目標達成度と振り返りをする	自己達成の評価と課題発見
準備学習 時間外学習			事後学習として該当箇所の復習と課題を実施します	

【使用教科書・教材・参考書】

使用教科書：実践！キャリアコミュニケーション 教材/スライド資料・ワークブック

科目名	動物園研究Ⅴ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	栗原七保子
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）						
教員の略歴	日本動物植物専門学校卒、（株）よみうりランド、財団法人横浜市緑の協会勤務						
授業の学習内容	本講義では、財団法人横浜市緑の協会、よこはま動物園ズーラシアと横浜市野毛山動物園、任意団体ShoeZ（シューズ）との連携を通して、「野生動物保全」についての関わり方を学びます。「保全教育」の概念について知り、実践する方法を身につけていきます。						
到達目標	各園で実施されるプログラムを企画、実施し、多くの方に保全プログラムに参加してもらうことを通して、野生動物保全に対する来園者の意識向上を目指します。						
評価方法と基準	出席日数、プログラム作成への積極性（チェックリストを用意）、レポート形式でのテストを実施しA～D（Dは出席日数不足）の評価判定をします。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	座学	目標と実施内容の共有、カワウソの生態について調べる	カワウソの生態について知るための資料を準備する
2	4月25日	調べ学習	カワウソの生態について知る、ZOOM、シナリオ共有	内容について理解し、自信を持って発表できるよう準備する
3	5月9日	調べ学習	キリンの生態について調べる	キリンの生態について知るための資料を揃える
4	5月16日	調べ学習	キリンの生態について調べる	
5	5月23日	調べ学習	キリンの生態について調べる	
6	5月30日	発表練習	カワウソ発表練習	内容について理解し、自信を持って発表できるよう準備する
7	2024/6/1,2	ズーラシア	カワウソ発表	来園者の反応を大切に、分かりやすい発表を出来るようにする
8	6月13日	発表練習	キリンシナリオ共有	内容について理解し、自信を持って発表できるよう準備する
9	2024/6/15,16	ズーラシア	キリン発表	来園者の反応を大切に、分かりやすい発表を出来るようにする
10	7月4日	休講	ズーラシア分休講	
11	7月11日	休講	ズーラシア分休講	
12	7月20日	見学実習	野毛山動物園見学実習	野生動物が生息する環境を保全する方法について調べてみる（夏休み宿題）
13	8月29日	発表	調べた内容について、各自発表	野生動物が生息する環境を保全する方法について発表準備をする
14	9月5日	試験	前期試験	
15	9月12日	振り返り	振り返り、企画書作成	野生動物が生息する環境を保全する方法について、園館への発表準備をする
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

ビオトープ作成についての参考資料

科目名	応用行動分析学Ⅲ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	髙橋文彦
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	よこはま動物園ズーラシア、JICA(エンテベZoo)、(一社)地球温暖化防止全国ネット、株式会社ウェバレッジ代表、ごかつら池どうぶつパーク園長						
授業の学習内容	応用行動分析学Ⅰ～Ⅱで学んだ内容に加えて、更に理解を深め、行動を科学的にとらえながら、応用行動分析学について知ってもらいます。また、校外にて動物園などで見学実習を行い、行動管理について知るとともに、リアルに学びながら、動物自身のストレスの減少や生活の質（QOL）向上や、適切な行動レパートリーが増えるような飼育環境作りも学んで行きます。						
到達目標	応用行動分析学Ⅰ～Ⅱで学んだ内容にプラスしつつ、3年次が対象となりますので、より実勢的な内容を習得して、即実践で活用できるまでになることを目標とします。						
評価方法と基準	期末テスト　60% ワークシート 30% 授業態度　10%						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	######	④時限：講義	イントロダクション：教員の紹介と前期の授業内容、講義の進め方について	
2	######	⑤時限：講義	応用行動分析学とは【復習編】	
3	######	④時限：講義	行動強化の原理とは	
4	######	⑤時限：講義	動物トレーニング【実践編】	
5	5月7日	③時限：見学実習	多摩動物園（リアル解説①） エンリッチメントの活用術【実践編】	ワークシートにまとめて提出
6	5月7日	④時限：見学実習	多摩動物園（リアル解説②） エンリッチメントの活用術【実践編】	ワークシートにまとめて提出
7	######	③時限：見学実習	上野動物園（リアル解説③） 適切な行動を引き出す飼育環境とは【実践編】	ワークシートにまとめて提出
8	######	④時限：見学実習	上野動物園（リアル解説④） 適切な行動を引き出す飼育環境とは【実践編】	ワークシートにまとめて提出
9	######	③時限：講義(オンライン)	ごかつら池どうぶつパークから中継 【開園直前編】	ワークシートにまとめて提出
10	######	③時限：講義(オンライン)	ごかつら池どうぶつパークから中継 【リニューアルオープン後はどうなった編】	ワークシートにまとめて提出
11	######	③時限：見学実習	金沢動物園（リアル解説編⑤） 動物園の動物の行動を分析する【実践編】	ワークシートにまとめて提出
12	######	④時限：見学実習	金沢動物園（リアル解説編⑥） 動物園の動物の行動を分析する【実践編】	ワークシートにまとめて提出
13	######	③時限：講義	前期復習および、ディスカッション	これまでの復習と試験対策
14	9月3日	③時限：講義	テスト（60分の筆記テスト）	
15	######	③時限：講義	テスト振返りおよび、ディスカッション	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	経営学Ⅰ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	野崎広治
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		

教員の略歴	不動産会社・金融コンサルタントを経て、独立。現在は、キャリア相談、採用コンサル、企業研修講師などの活動を行う
授業の学習内容	・経営資源「ヒト」「モノ」「カネ」の理解を深める。前期は「ヒト」、後期は「モノ」「カネ」を扱う ・経営・マーケティング視点を醸成することで就職後、次世代リーダーとして長期的なキャリア形成の実現を目指す。 ・就職後、リーダー、店長など現場を統括するためのマネジメント力、リーダーシップ力、人材育成力の土台を作る。 ・後期はマーケティングの実践を行、企画→実行を行う予定である。そのため、WEBマーケティングの授業における、WEBの基礎知識、マーケティングを学習していることを踏まえて授業を進めるので、しっかり学びを得ておくこと。 ・学生の状況などを踏まえ課題、授業内容など柔軟に対応していく。授業は講師が一方的に作るのではなく、学生とともに作っていくものだとと考えている。学びたいことなどがあれば、遠慮なく提案をしてほしい。
到達目標	①会社の仕組みを知り、人マネジメントの仕組み、流れがわかる。 ②自分自身の課題抽出と成長を導き出し、自らの自己成長PDCAが回せるようになる
評価方法と基準	授業運営に大きな変更が生じた場合は変更する場合がある。 ①試験・・・50%　100点を1/2 にす②授業態度（個人の取り組み・提出物・360度評価）・・・25%③授業態度（グループ・クラス全体への取り組み）・・・25% ※①と③を踏まえ最終評価を出す。（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） ・課題の提出遅れ・未提出について忌引き、事故病気による入院、指定感染症への感染、（課題提示時～提出までの間）、研修参加の場合は減点評価をしない。自己管理の徹底も取り組みの1つである。友人と情報共有を行い、また体調不良になる可能性も含め、早めに取り組むこと。 ・提出物を提出しても基準に満たないものは未提出と同等の評価とする。 ・試験の点数が高く、静かに授業を聞けば良い成績になるというものではない。個人の成長、成長への取り組み、クラスへの貢献が見られなければF判定となる可能性が高い。プロセスを評価するため社会人を意識して主体的に取り組むことを期待する。 ・詳細は授業第一回目で説明する。

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	本授業の進め方や概要を理解する・経営学を学ぶことの意味を理解する	適宜提示
2		講義・演習	【会議ファリシリテーション】 会議の進行の方法を理解し、実践を通じて会議運営ができるようになる	課題：会議ファシリテーションの練習 課題：会議報告書の作成・提出
3		講義・演習		
4		講義・演習		
5		講義・演習	【組織運営と人材マネジメント】 ●G -PDCA ケーススタディを通じてG-PDCAを理解し、日常で活用できるようになる ●人材育成と動機付け 育成のポイント、1ON1ミーティングのポイントを実践形式で身につける＊DiSC理論を活用するため復習しておくこと。復習の時間は取らない。 ●生産性向上 QCD・WBS・ガントチャートの理解と作成方法を学び、進捗管理、生産性向上の手法を身につける ●リーダシップ・フォロワーシップ 自分自身だけでなく、チーム全体のパフォーマンスを高める方法を身につける	事前学習：DiSC理論
6		講義・演習		適宜提示
7		講義・演習		適宜提示
8		講義・演習		適宜提示
9		講義・演習		適宜提示
10		講義・演習		適宜提示
11		講義・演習		適宜提示
12		講義・演習		適宜提示
13		講義・演習	前期の振り返りと自身の課題抽出ができる	
14		試験	試験実施（60分）	Teams予定
15		講義・演習	前期の振り返りを行い、学びの言語化、後期へ向けた行動を明確にし成長につなげる	

準備学習　時間外学習	授業前課題・授業後の課題などあり。適宜提示

【使用教科書・教材・参考書】

講師作成資料　Teams　※PC、スマートフォン、タブレッドなどの電子機器は許可した場合のみ使用可能

科目名	経営学Ⅰ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	中村美穂
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	企業にてエンジニア、人事部門での教育、採用を経験後、独立。現在は、研修講師、キャリアカウンセラーとして従事。						
授業の学習内容	水族館は複数の人が共に働き、生き物を通じて世の中に価値を提供する「組織」であり「企業」です。企業が生き物を通じて世の中に価値提供し続けるために何が必要でしょうか。企業が成長発展するためには、ヒト、モノ、カネ、情報といった資源をいかに効果的に使うかが求められます。本授業では、特にモノ、カネ、情報に焦点をあて、考え方や仕組み、分析方法などの知識を養います。企業を見る力を増やすだけでなく、企業組織で働く際により広い視点で仕事を見て動ける力をつけることを目指します。						
到達目標	【プロジェクトマネジメント・思考力】 【マーケティング・思考力】マーケティングとは何か全体像を知る。マーケティング戦略を考えるうえで必要な、論理的思考と批判的思考を理解し、仮説・検証ができる力を養う。企業活動、プロジェクトで発生する問題、今後発生する問題に対し、真因を考え解決策を構築できる。解決策を実行するための計画立案や課題管理、進捗管理が実践できるようになる。						
評価方法と基準	【評価方法】 1）定期試験70%　2）授業態度20%　3）出席数10% 【評価基準】 1）定期試験は、各設問について、授業内での実施事項を踏まえ回答する。各設問ごとに点数を設け、合算して算出する。 2）授業態度は、授業参加姿勢や授業後の実践の取り組み状況、提出物の有無、内容を含む。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義、演習	【オリエンテーション】本授業の進め方や概要がわかる	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
2	4月24日	講義、演習	【会社とは①】ワークを通じて企業活動の仕組みを体感し、企業活動のイメージが広がる	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
3	5月8日	講義、演習	【会社とは②】ワークを振り返り、企業活動の仕組みを理解できる	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
4	5月15日	講義、演習	【ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ①】プロジェクトとプロジェクト管理の要素について理解する	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
5	5月22日	講義、演習	【ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ②】プロジェクト計画書の策定項目を知り、作成する	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
6	6月5日	講義、演習	【ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ③】計画策定（WBS)の構築方法を理解する	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
7	6月19日	講義、演習	【ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ④】プロジェクト実行時の管理項目を知り、管理方法を理解する	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
8	6月26日	講義、演習	【問題解決①】根拠立てて物事を考えることができるようになる（ロジカル思考）	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
9	7月3日	講義、演習	【問題解決②】物事を深く広く考えることができる（MECE）	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
10	7月10日	講義、演習	【問題解決③】問題を設定し原因を追究する方法を理解する（ロジックツリー）	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
11	7月17日	講義、演習	【問題解決④】ケーススタディ①	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
12	8月21日	講義、演習	【問題解決⑤】ケーススタディ②	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
13	8月28日	講義、演習	【問題解決⑥】ケーススタディ③	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
14	9月4日	前期試験	前期試験	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
15	9月11日	振り返り	テスト結果を振り返り、前期学習内容の更なる理解を深める	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	経営学Ⅱ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	中村美穂
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	企業にてエンジニア、人事部門での教育、採用を経験後、独立。現在は、研修講師、キャリアカウンセラーとして従事。						
授業の学習内容	水族館は複数の人が共に働き、生き物を通じて世の中に価値を提供する「組織」であり「企業」です。企業が生き物を通じて世の中に価値提供し続けるために何が必要でしょうか。企業が成長発展するためには、ヒト、モノ、カネ、情報といった資源をいかに効果的に使うかが求められます。本授業では、特にモノ、カネ、情報に焦点をあて、考え方や仕組み、分析方法などの知識を養います。企業を見る力を増やすだけでなく、企業組織で働く際により広い視点で仕事を見て動ける力をつけることを目指します。						
到達目標	【プロジェクトマネジメント・思考力】 【マーケティング・思考力】マーケティングとは何か全体像を知る。マーケティング戦略を考えるうえで必要な、論理的思考と批判的思考を理解し、仮説・検証ができる力を養う。企業活動、プロジェクトで発生する問題、今後発生する問題に対し、真因を考え解決策を構築できる。解決策を実行するための計画立案や課題管理、進捗管理が実践できるようになる。						
評価方法と基準	【評価方法】 1）定期試験70%　2）授業態度20%　3）出席数10% 【評価基準】 1）定期試験は、各設問について、授業内での実施事項を踏まえ回答する。各設問ごとに点数を設け、合算して算出する。 2）授業態度は、授業参加姿勢や授業後の実践の取り組み状況、提出物の有無、内容を含む。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義、演習	【ビジネスマインド】仕事に必要な目的意識、姿勢を養う	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
2	10月9日	講義、演習	【問題解決】ケーススタディ①	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
3	10月16日	講義、演習	【問題解決】ケーススタディ②	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
4	10月23日	講義、演習	【問題解決】企業での活用事例	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
5	10月30日	講義、演習	【問題解決】企業での活用事例を調べる	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
6	11月6日	講義、演習	【会計】企業の利益の意味を理解する	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
7	11月13日	講義、演習	【会計】個人の会計を通して、会計の意味を理解する	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
8	11月27日	講義、演習	【会計】損益計算書（PL）を理解する	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
9	12月4日	講義、演習	【会計】貸借対照表（BS）を理解する	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
10	12月11日	講義、演習	【会計】キャッシュフロー計算書、決算書を理解する	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
11	12月18日	講義、演習	【会計】資金調達の方法を理解する	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
12	1月8日	講義、演習	【プロジェクトマネジメント】タスク管理演習	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
13	1月15日	講義、演習	【ストレスコントロール】ストレスを知り、自身のストレスの傾向、ストレスの緩和、解消を考える	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
14	1月22日	後期試験	後期試験	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
15	1月29日	振り返り	テスト結果を振り返り、後期学習内容の更なる理解を深める	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	経営シュミレーションⅠ	必修選択	選択	年次	2・3	担当教員	野崎広治
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		

教員の略歴	不動産会社・金融コンサルタントを経て、独立。現在は、キャリア相談、採用コンサル、企業研修講師などの活動を行う
授業の学習内容	・経営の3大資源「ヒト」「モノ」「カネ」における「ヒト」の分野を学ぶ。経営学・WEBマーケティングの授業とも関連性が深いため、他の授業の学習も意欲的に進めることを勧める。また、CSUの授業で学んだことは知識として習得、スキルとして身につけている前提で進める。不安がある学生は復習をすること。 ・「ヒト」マネジメントの視点、具体的なスキルを学ぶことで、次世代リーダーとして長期的なキャリア形成の実現を目指す。具体的には、就職後、リーダー、店長など現場を統括するためのマネジメント力、リーダーシップ力、部下育成力、現場へ貢献する上司へのフォロワーシップ力の土台を学生のうちから醸成する。 ・前期はヒューマンマネジメントの土台となるコミュニケーションを習得し、後期はそれを活かし実践的なマネジメントを学ぶ。 ・授業は一方的な座学ではなく、講師と学生、学生間の双方向性型で進める。学生の取り組み姿勢によって、手にいれる結果は大きく変わる。主体的な参加を期待する。 ・学生の状況などを踏まえ課題、授業内容など柔軟に対応していく。授業は講師が一方的に作るのではなく、学生とともに作っていくものだとと考えている。学びたいことなどがあれば、遠慮なく提案をしてほしい。
到達目標	①人マネジメントの仕組み、流れがわかる。チームで働くことの重要性、効果を理解する ②自分を知り、他人を理解し、自他の違いを知ると同時に、人のタイプに応じた関わりかたを身につける ③人を動かすための動機付け、コミュニケーションを身につける。
評価方法と基準	授業運営に大きな変更が生じた場合は変更する場合がある。 ①試験・・・50%　100点を1/2 にする②授業態度（個人の取り組み・提出物）・・・25%③授業態度（グループ・クラス全体への取り組み）・・・25% ※①～③を踏まえ最終評価を出す。（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） ・課題の提出遅れ・未提出について忌引き、事故病気による入院、指定感染症への感染、（課題提示時～提出までの間）、研修参加の場合は減点評価をしない。自己管理の徹底も取り組みの1つである。友人と情報共有を行い、また体調不良になる可能性も含め、早めに取り組むこと。 ・提出物を提出しても基準に満たないものは未提出と同等の評価とする。 ・試験の点数が高く、静かに授業を聞けば良い成績になるというものではない。個人の成長、成長への取り組み、クラスへの貢献が見られなければF判定となる可能性が高い。プロセスを評価するため社会人を意識して主体的に取り組むことを期待する。 ・詳細は授業第一回目で説明する。

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	本授業の取り組み方がわかる。ヒトマネジメントを学ぶ必要性の理解と自己成長計画を立てる	課題：本授業における自己成長計画
2		講義・演習	【会議ファリシリテーション】会議進行の方法を理解し、実践を通じて効果的なディスカッションや会議運営ができる	
3		講義・演習		課題：会議の実践
4		講義・演習		課題：会議の実践・会議報告書の作成
5		講義・演習	【モチベーションマネジメント】人を動かす動機付けについて理解を深める。DiSC理論を活用して、自他の違いを知り、かつ自身の強みと課題を理解し、ヒューマンマネジメント・コミュニケーションに活かす。	※欠席すると（特に第5回）、授業に追いつくことが大変なため、極力参加すること 課題；人間観察・分析
6		講義・演習		
7		講義・演習		
8		講義・演習	【コミュニケーションスキル】ヒューマンマネジメントのベースになるコミュニケーションスキルをケーススタディ、ワークを通じて学び、自身のスキルにする。 【主なスキル】質問スキル、傾聴スキル、問題／課題解決面談、OSKERモデル、アサーティブコミュニケーション、洞察力・観察力など	課題：適宜提示 ※学習スキルを日常生活で実践し、「知っている」から「活用できる」「効果が出せる」レベルまでトレーニングする
9		講義・演習		
10		講義・演習		
11		講義・演習		
12		講義・演習		
13		講義・演習		
14		試験	試験実施（60分）	
15		講義・演習	前期の振り返りを行い、学びの言語化、後期へ向けた行動を明確にし成長につなげる	
準備学習　時間外学習			授業前課題・授業後の課題などあり。適宜提示	
【使用教科書・教材・参考書】				
講師作成資料　Teams　※PC、スマートフォン、タブレッドなどの電子機器は許可した場合のみ使用可能				

科目名	経営シュミレーションⅡ	必修選択	選択	年次	2・3	担当教員	野崎広治
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	不動産会社・金融コンサルタントを経て、独立。現在は、キャリア相談、採用コンサル、企業研修講師などの活動を行う						
授業の学習内容	・経営の3大資源「ヒト」「モノ」「カネ」における「ヒト」の分野を学ぶ。経営学・WEBマーケティングの授業とも関連性が深いため、他の授業の学習も意欲的に進めることを勧める。また、CSUの授業で学んだことは知識として習得、スキルとして身につけている前提で進める。不安がある学生は復習をすること。 ・「ヒト」マネジメントの視点、具体的なスキルを学ぶことで、次世代リーダーとして長期的なキャリア形成の実現を目指す。具体的には、就職後、リーダー、店長など現場を統括するためのマネジメント力、リーダーシップ力、部下育成力、現場へ貢献する上司へのフォロワーシップ力の土台を学生のうちから醸成する。 ・前期はヒューマンマネジメントの土台となるコミュニケーションを習得し、後期はそれを活かし実践的なマネジメントを学ぶ。 ・授業は一方的な座学ではなく、講師と学生、学生間の双方向性型で進める。学生の取り組み姿勢によって、手にいれる結果は大きく変わる。主体的な参加を期待する。 ・専攻初の授業となるため学生の状況などを踏まえ課題、授業内容など柔軟に対応していく。授業は講師が一方的に作るのではなく、学生とともに作っていくものだとと考えている。学びたいことなどがあれば、遠慮なく提案をしてほしい。						
到達目標	①人マネジメントの仕組み、流れがわかる。チームで働くことの重要性、効果を理解する ②自分を知り、他人を理解し、自他の違いを知ると同時に、人のタイプに応じた関わりかたを身につける ③人を動かすための動機付け、コミュニケーションを身につける。						
評価方法と基準	授業運営に大きな変更が生じた場合は変更する場合がある。 ①試験・・・50%　100点を1/2 にする②授業態度（個人の取り組み・提出物）・・・25%③授業態度（グループ・クラス全体への取り組み）・・・25% ※①～③を踏まえ最終評価を出す。（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） ・課題の提出遅れ・未提出について忌引き、事故病気による入院、指定感染症への感染、（課題提示時～提出までの間）、研修参加の場合は減点評価をしない。自己管理の徹底も取り組みの1つである。友人と情報共有を行い、また体調不良になる可能性も含め、早めに取り組むこと。 ・提出物を提出しても基準に満たないものは未提出と同等の評価とする。 ・試験の点数が高く、静かに授業を聞けば良い成績になるというものではない。個人の成長、成長への取り組み、クラスへの貢献が見られなければF判定となる可能性が高い。プロセスを評価するため社会人を意識して主体的に取り組むことを期待する。詳細は授業第一回目で説明する。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	本授業の取り組み方がわかる。ヒトマネジメントを学ぶ必要性の理解と自己成長計画を立てる	課題：本授業における自己成長計画
2		講義・演習	【洞察力と感情マネジメント】 心理学を活用し、相手の状態を洞察し、相手を不快にさせない、前向きにするコミュニケーション手法の習得及び実践ができるようになる	授業で学んだことを日常生活やアルバイトなど様々な場面で実践し、スキル習得に努める
3		講義・演習		
4		講義・演習		
5		講義・演習	【キャリア構築】 VUCA時代（変化の激しい時代）における、キャリア構築のポイントを学び、未来のキャリアを描くことができるようになる	キャリアについて考える
6		講義・演習		
7		講義・演習	【ティーチングと指導】DiSC理論や感情を配慮した指導ができるようになる 【コーチング】 ・コーチングの基礎スキルを習得し、プロブレムフォーカス・ソリューションフォーカス・Growモデルを活用したコーチングができるようになる	授業で学んだことを日常生活やアルバイトなど様々な場面で実践し、スキル習得に努める
8		講義・演習		
9		講義・演習		
10		講義・演習		
11		講義・演習	【ストレスマネジメント・GRIT】 ・レジリエンス力を高め様々なストレスの場面に対応できるようになる。 ・やり抜く力の現状を知り、GRITの向上を目指す	
12		講義・演習		
13		講義・演習		
14		試験	試験実施（60分）	Teams予定
15		講義・演習	振り返り・社会人へ向けての準備	
準備学習　時間外学習			授業前課題・授業後の課題などあり。適宜提示	

【使用教科書・教材・参考書】

講師作成資料　Teams　※PC、スマートフォン、タブレッドなどの電子機器は許可した場合のみ使用可能

科目名	キャリアコミュニケーションⅠ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	野崎広治
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	不動産会社・金融コンサルタントを経て、独立。現在は、キャリア相談、採用コンサル、企業研修講師などの活動を行う						
授業の学習内容	＜学習内容＞ ・自らが起業する際に必要となる基礎知識を身につける。 ・経営資源（ヒト・モノ・カネ）を踏まえ、ターゲット、顧客に価値のある商材の企画～作成～提供まで一連のプロジェクトを作り上げる ・外部の一般企業・一般へ向けて、動物の情報提供を行う。 ＜授業の留意点＞ ・他の授業で学習している科目の知識は既知のものとして授業を進める。特にマーケティング、動画、PCはしっかり復習しておくこと ・課題については相当の時間がかかるものがあるため、クラスで協力しまた各自スケジュールを確保して取り組むこと。 ・欠席の場合、資料はTeamsから確認すること。 ・授業内容は状況に応じて変更することがある。 ・卒業年次は他の授業科目において演習が多くなり、時間外学習の時間が増えると想定している。また就職活動も本格的な時期になり、多くのプレッシャーの中での取り組みになる。学生生活、就職活動、プライベートの時間のバランスよく進めて欲しい。どこか不具合が生じるリスクを感じた場合、実際に生じた場合はその点を考慮して進行を修正するため、早めの相談を希望する。						
到達目標	自らがビジネスを立ち上げるためには何が必要なのかを実践を通じて理解し、社会人になった際、それらの実現に向けて円滑に行動できる土台を築く						
評価方法と基準	授業運営に大きな変更が生じた場合は変更する場合がある。 ①試験・・・50％　100点を1/2 にする　※Teamsにおけるレポートの予定②授業態度・・・50％ ※①から④を踏まえ最終評価を出す。（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） ・課題の提出遅れ・未提出について忌引き、事故病気による入院、指定感染症への感染、（課題提示時～提出までの間）、研修参加の場合は減点評価をしない。自己管理の徹底も取り組みの1つである。友人と情報共有を行い、また体調不良になる可能性も含め、早めに取り組むこと。 ・提出物を提出しても基準に満たないものは未提出と同等の評価とする。・試験の点数が高く、静かに授業を聞けば良い成績になるというものではない。個人の成長、成長への取り組み、クラスへの貢献が見られなければF判定となる可能性が高い。プロセスを評価するため社会人を意識して主体的に取り組むことを期待する。・詳細は授業第一回目で説明する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	本授業の方向性・取り組み方がわかる。 社会における企業の立ち位置・価値提供の意味が理解できる	状況に応じて設定
2		講義・演習		状況に応じて設定
3		講義・演習	【商品・サービスの作り方】 付加価値の提供。価格設定、顧客単価を上げる方法が理解できる。 【クリエイティブシンキング・イノベーション理論】 思考法を通じて、新規商材の作り方、アイディアの出し方がわかる	状況に応じて設定
4		講義・演習		状況に応じて設定
5		講義・演習		状況に応じて設定
6		講義・演習		状況に応じて設定
7		講義・演習		状況に応じて設定
8		講義・演習		状況に応じて設定
9		講義・演習	【企画書作成】 企画書が作成できる	状況に応じて設定
10		講義・演習		状況に応じて設定
11		講義・演習	【商材作成企画演習】 ビジネスプランの作成・発表	状況に応じて設定
12		講義・演習		状況に応じて設定
13		講義・演習		状況に応じて設定
14		試験	試験実施	
15		講義・演習	前期の振り返りを行い、学びの言語化、後期へ向けた行動を明確にし成長につなげる	
準備学習　時間外学習			授業前課題・授業後の課題などあり。適宜提示	
【使用教科書・教材・参考書】				
講師作成資料　Teams　※PC、スマートフォン、タブレッドなどの電子機器は許可した場合のみ使用可能				

科目名	キャリアコミュニケーションⅡ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	野崎広治
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	不動産会社・金融コンサルタントを経て、独立。現在は、キャリア相談、採用コンサル、企業研修講師などの活動を行う						
授業の学習内容	＜学習内容＞ ・自らが起業する際に必要となる基礎知識を身につける。 ・経営資源（ヒト・モノ・カネ）を踏まえ、ターゲット、顧客に価値のある商材の企画～作成～提供まで一連のプロジェクトを作り上げる ・外部の一般企業・一般へ向けて、動物の情報提供を行う。 ＜授業の留意点＞ ・他の授業で学習している科目の知識は既知のものとして授業を進める。特にマーケティング、動画、PCはしっかり復習しておくこと ・課題については相当の時間がかかるものがあるため、クラスで協力しまた各自スケジュールを確保して取り組むこと。 ・欠席の場合、資料はTeamsから確認すること。 ・授業内容は状況に応じて変更することがある。 ・後期は他の授業科目において演習が多くなり、時間外学習の時間が増えると想定している。また就職活動も本格的な時期になり、多くのプレッシャーの中での取り組みになる。学生生活、就職活動、プライベートの時間のバランスよく進めて欲しい。どこか不具合が生じるリスクを感じた場合、実際に生じた場合はその点を考慮して進行を修正するため、早めの相談を希望する。						
到達目標	自らがビジネスを立ち上げるためには何が必要なのかを実践を通じて理解し、社会人になった際、それらの実現に向けて円滑に行動できる土台を築く						
評価方法と基準	外部環境要因（コロナ禍など）により授業運営に大きな変更が生じた場合は変更する場合がある。 ①試験・・・50％　100点を1/2 にする　※Teamsにおけるレポートの予定②授業態度・・・50％ ※①から④を踏まえ最終評価を出す。（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） ・課題の提出遅れ・未提出について忌引き、事故病気による入院、指定感染症への感染、（課題提示時～提出までの間）、研修参加の場合は減点評価をしない。自己管理の徹底も取り組みの1つである。友人と情報共有を行い、また体調不良になる可能性も含め、早めに取り組むこと。 ・提出物を提出しても基準に満たないものは未提出と同等の評価とする。・試験の点数が高く、静かに授業を聞けば良い成績になるというものではない。個人の成長、成長への取り組み、クラスへの貢献が見られなければF判定となる可能性が高い。プロセスを評価するため社会人を意識して主体的に取り組むことを期待する。・詳細は授業第一回目で説明する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1		講義・演習	企業との打ち合わせ ↓ 計画 ↓ 実行 ↓ 検証・改善 ↓ 成果物の納品 プロジェクトを通じてビジネス創造の方法やポイントを知り、PDCAサイクルを体験学習する	
2		講義・演習		プロジェクトの未達部分・足りない部分など次回の授業までに作業が必要な場合 各自取り組むこと
3		講義・演習		
4		講義・演習		
5		講義・演習		
6		講義・演習		
7		講義・演習		
8		講義・演習		
9		講義・演習		
10		講義・演習		
11		講義・演習		
12		講義・演習		
13		講義・演習		
14		試験	試験実施	Teams予定
15		講義・演習	振り返り・社会人へ向けての準備	
準備学習　時間外学習			適宜提示	
【使用教科書・教材・参考書】				
講師作成資料　Teams　※PC、スマートフォン、タブレッドなどの電子機器は許可した場合のみ使用可能				